加熱型改質アスファルト塗膜防水工法

アスリード工法

日本アスファルト防水工業協同組合

国土交通省東計第240号認可

建築防水の原点であるアスファルト防水熱工法
アスリード工法はアスファルト防水の明日を率

アスリード工法とは

アスリード工法は塗膜防水材に匹敵する塗膜物性のアスリードコート、従来のルーフィングよりも大幅に高伸長・高強度を実現したアスリードルーフを組み合わせた新たなアスファルト防水工法です。
熱アスファルト防水の信頼性・耐久性を保持しながら、大幅な施工省力化を実現した工法です。

アスリードコート

熱工法に使用する防水工事用改質アスファルトでありながら、塗膜防水に匹敵する物性を有した加熱型高耐久改質アスファルト塗膜防水材です。

アスリードルーフ

厚さ1.7mmで高伸長・高強度を実現した改質アスファルトルーフィングです。

アスファインルーフA

表面を高耐候特殊フィルム仕上げとした熱工法用の露出改質アスファルトルーフィングです。表面の凹凸がないため、意匠性に優れています。

信頼性の高い熱工法

- 実績のあるアスファルト防水熱工法による信頼性。

施工省力化

- 単層保護仕様や立上り
- 端末はビス穴を開ける

が新たな進化を遂げました。
いる、革新的な防水工法です。

Contents

アスリードコート	4
アスリードルーフ	4
納まりの向上	5
省力化（工期短縮）	6
想定耐用年数の算出方法	7
アスファインルーフA	8
仕様記号について	9
仕様一覧	9
防水仕様	10
仕上オプション	22
注意事項	23
変更可能な製品	23
材料一覧	24
技術資料	36
維持管理	38
納まり図例	40

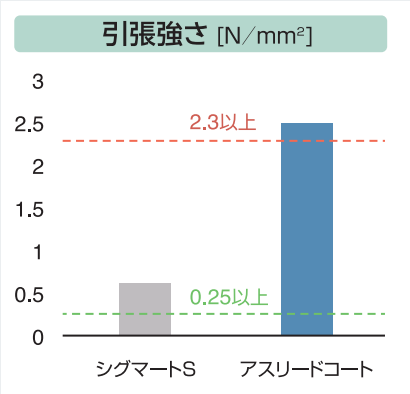
塗膜工法の採用。
ことなく塗膜＋メッシュ納めが可能。

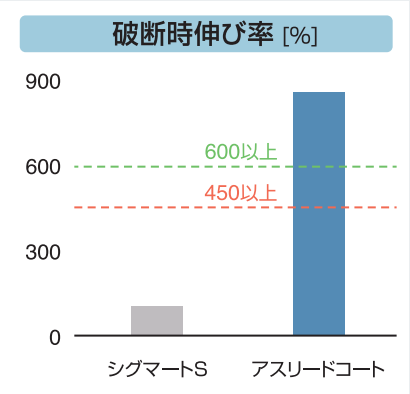
アスリードコート

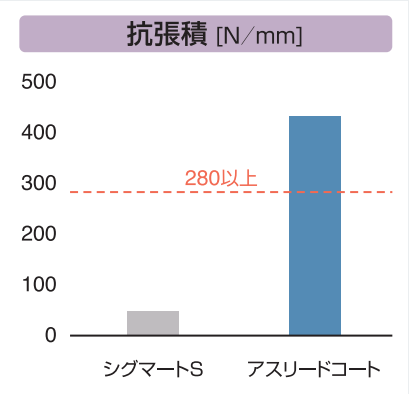
流し張り可能な防水工事用改質アスファルトでありながら、ウレタン塗膜防水材に匹敵する物性を有する加熱型高耐久改質アスファルト塗膜防水材です。
防水材として歴史の長いアスファルトの耐久性を引き継ぎながら、塗膜防水材としての高い強度と伸びを付与した次世代の改質アスファルトです 。

施工温度	220～240℃ (立上りをニチロンメッシュに変更する場合は、200～220℃)　※溶融上限260℃
規　　格	10 kg/フィルム

JIS A 6021ゴムアスファルト・ウレタン系塗膜防水材（各規格値）、一般3種防水工事用アスファルト（シグマートS）との性能比較は下表の通りです。
「引張強さ」「破断時の伸び率」「抗張積」共に高い性能を有しています。







JIS A 6021
ウレタンゴム系塗膜防水材※規格値

JIS A 6021
ゴムアスファルト系塗膜防水材規格値

※高伸長型

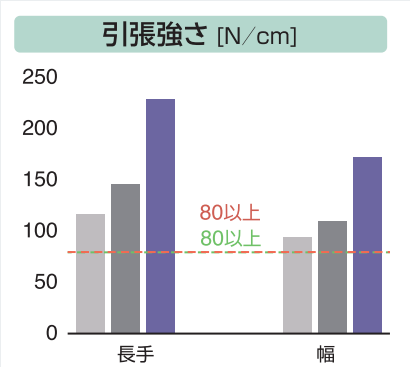
アスリードルーフ

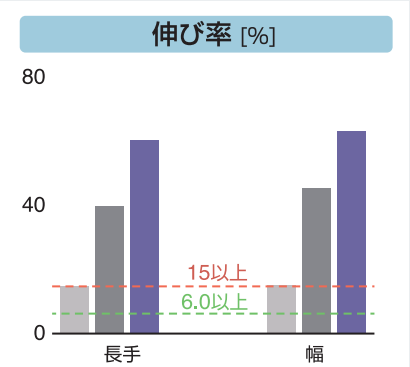
高伸長･高強度を実現した高機能改質アスファルトルーフィングです。
従来のストレッチルーフィングや改質アスファルトルーフィングに比べ、同じ厚みでありながら高い強度と伸び率を兼ね備え、アスリードコートの品質を最大限に引き出します。

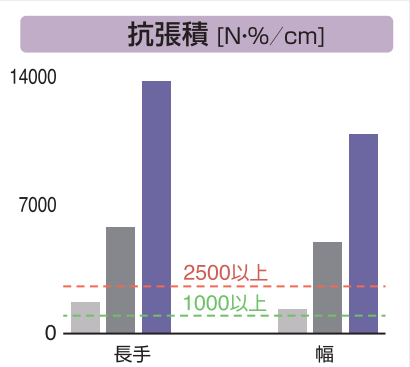
規　　格	1m×16m、30 kg/巻
	t=1.7mm

日光による表面の温度上昇を抑え、かつアスリードコート の塗布具合が確認し易い白色印刷 ▶

JIS A 6013 改質アスファルトルーフィング（シェーン20）、JIS A 6022 ストレッチルーフィング（SPストロング）との性能比較は下表の通りです。
JIS A 6022ストレッチルーフィングと比較して、「引張強さ」1.6倍程度、「伸び率」4.5倍程度、「抗張積」7倍程度の性能を有しています。







JIS A 6013
改質アスファルトルーフィング規格値

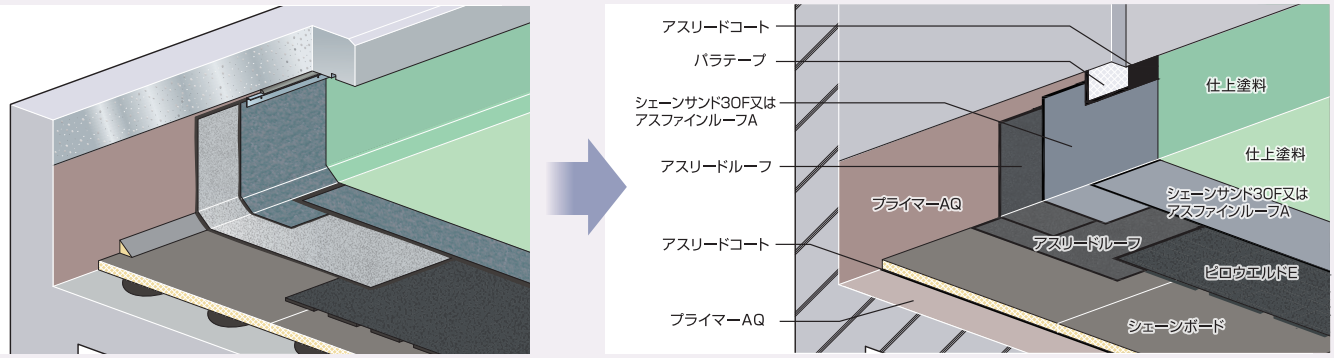
JIS A 6022
ストレッチルーフィング規格値

SPストロング
シェーン20
アスリードルーフ

納まりの向上

端末処理

立上り端末処理方法は新たに「アスリードコート＋補強布」となる塗膜処理を採用し、立上りや曲線部の水密性が向上しました。



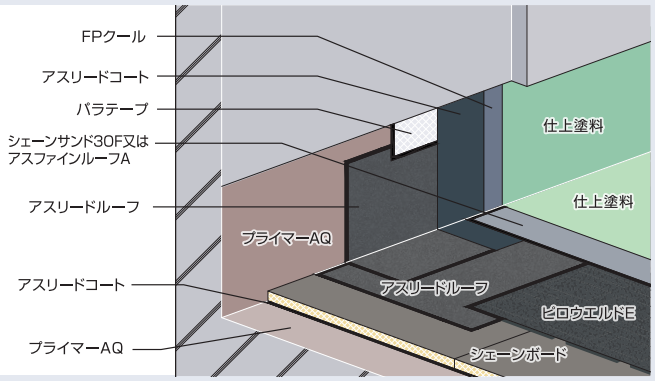
アスリードコートの塗膜としての高い物性や耐久性により、従来の「押え金物+シール材処理」同等以上の耐久性･水密性が確保されます。また、アゴの出を少なく設計することもでき、設計の自由度を上げることが可能となります。

※全仕様の立上りにおいて次の条件のどちらかを満たしている場合、防水端末部のメッシュ締めを省略できます。(納まり図例p.43参照)

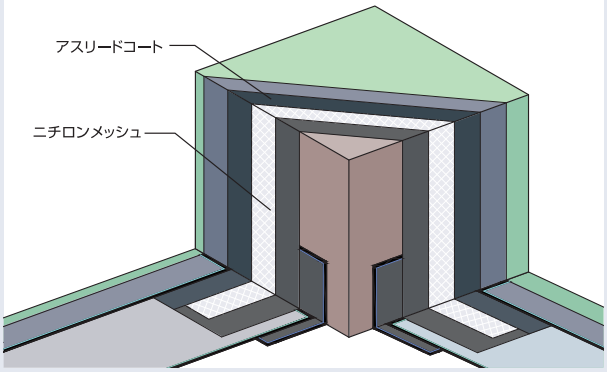
- ●立上り施工時、下地面にハケで下塗りを行う
- ●巻き上げ張りを行う

立上り露出塗膜工法

従来の露出アスファルト防水は、防水層保護のため砂付きルーフィングを最上層に張る必要がありますが、近年の複雑化した屋根の形状や架台回りにおいて、砂付きルーフィングで納めきれないような立上りが増えています。
そこで、塗膜防水材であるアスリードコートに専用の保護塗料を選定し、従来の砂付きルーフィング同等以上の耐候性･耐久性を確保させた、新しい露出塗膜仕上げを採用しました。塗膜工法であるため、ルーフィングでは高い技量を要する架台回りなどの複雑部位の施工が容易となり、高い水密性を確保できます。また、通常の立上りに関してもアスリードルーフ上にアスリードコートを塗布して仕上げる、施工性に優れた露出塗膜工法を採用しました。



一般部 立上り複合露出塗膜



狭小部・架台回り 塗膜+メッシュのみ

※メッシュ併用の立上り塗膜仕様のみ増張りが必要

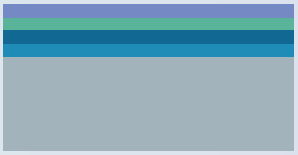
省力化（工期短縮）

従来のアスファルト防水は 4 枚程度のルーフィングに合計6kg／m²程度の防水工事用アスファルトが必要ですが、日本アス防水仕様では2枚のルーフィングに 合計2.7kg／m²の防水工事用アスファルトと省力化しています。
アスリード工法ではさらに削減され、1枚のルーフィングに合計2.7kg／m²の防水工事用アスファルト と大幅な施工省力化を実現しました。また、塗膜防水材（アスリードコート）2層＋改質アスファルトルーフィング（アスリードルーフ）1層の計3層となる構成で、熱アスファルト防水の信頼性・耐久性を保持しています。

工程	公共建築工事標準仕様　A-1		ピロウエルド新熱工法　FP-2		アスリード工法　FAL-1	
1	アスファルトプライマー	0.2kg／m²	プライマーAQ	0.2kg／m²	プライマーAQ	0.2kg／m²
2	アスファルトルーフィング1500 アスファルト流し張り	1.0kg／m²	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg／m²
3	SPストロング アスファルト流し張り	1.0kg／m²	SPストロング シグマート流し張り	1.2kg／m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg／m²
4	SPストロング アスファルト流し張り	1.0kg／m²	シグマートはけ塗り	1.5kg／m²	―	
5	アスファルトルーフィング1500 アスファルト流し張り	1.0kg／m²	―		―	
6	アスファルトはけ塗り	1.0kg／m²	―		―	
7	アスファルトはけ塗り	1.0kg／m²	―		―	

ルーフィングの使用量

公共建築工事標準仕様 A-1
（4枚のルーフィング）

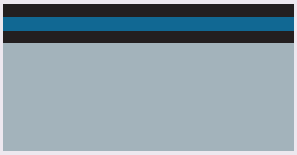


一般的なルーフィングを積層して使用
例）公共建築工事標準仕様　A-1

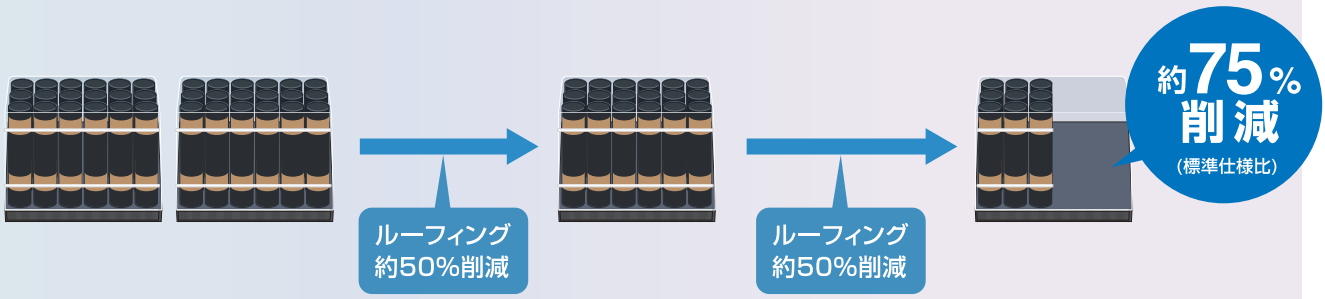
ピロウエルド新熱工法　FP-2
（2枚のルーフィング）

強度の強いルーフィングを使用
例）ピロウエルド新熱工法　FP-2

アスリード工法　FAL-1
（1枚のルーフィング＋塗膜複合）



アスリードルーフ+アスリードコート（塗膜）



想定耐用年数の算出方法

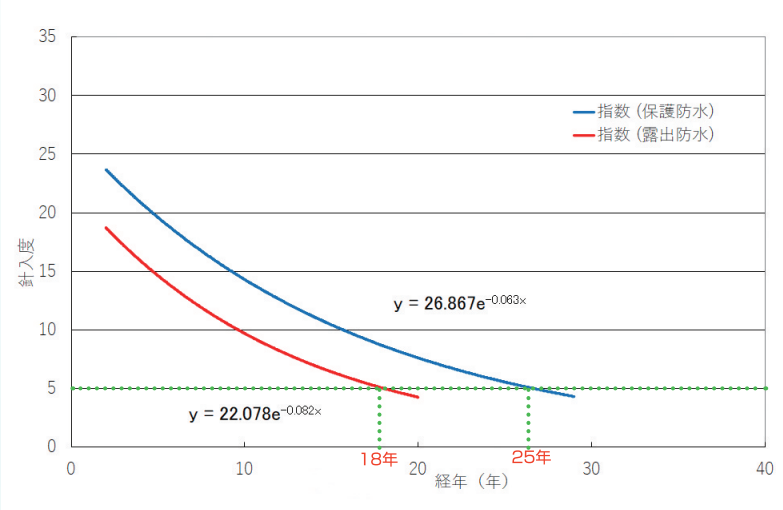
日本アス仕様の想定耐用年数は、総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上の技術の開発」（通称：耐久性総プロ）の考え方を基に、当組合において過去に実施した旧防水層の劣化診断により測定された数値から計算しております。

■近似式の算出

劣化診断により測定された数値を基に「露出防水」と「保護防水」に分けて近似式を算出。

■針入度による評価

防水層の劣化指標である「針入度5」となる年数を算出。



∴上記により**「標準耐用年数」**を

露出防水：18年

保護防水：25年　　と設定

標準耐用年数（Ys）を基準として、総プロを参考に独自係数を掛けたものを想定耐用年数（Y）としました。

Y＝Ys × s × a × b × c × D × M × R＋Su

Y　＝ 想定耐用年数

Ys ＝ 標準耐用年数（露出工法 Ys ＝18年　　保護工法 Ys ＝ 25年）

s：工法の選択係数　1.0～1.2（標準1.0）

a：設計係数　　0.5～1.3（標準1.0）

b：施工係数　　0.7～1.2（標準1.0）

c：気象係数　　0.8～1.0（一般季1.0）

D：劣化外力係数　　露出断熱工法: 0.8　　保護断熱工法: 1.2

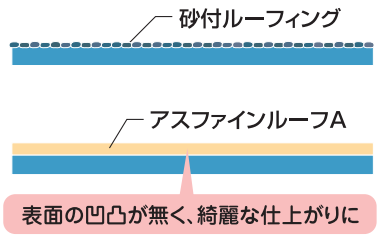
M: 維持保全係数　　0.7～1.0（標準1.0）

R: 仕様係数（各仕様を様々な角度から評価した係数）

Su: 仕上塗料や工法による加算年数

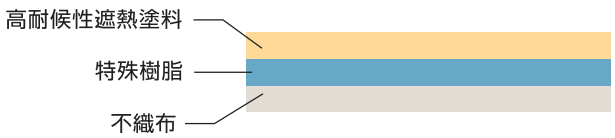
アスファインルーフA

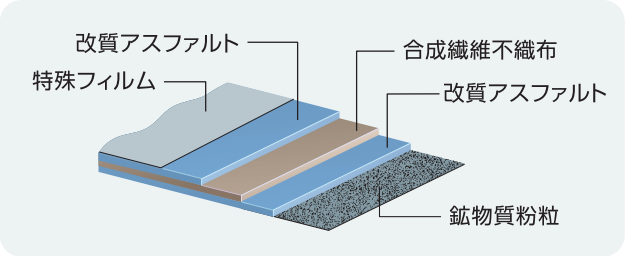
高耐久特殊フィルムが表面に構成された、熱工法にて施工可能な露出用改質アスファルトルーフィングです。
従来の砂付ルーフィングに比べて表面の凹凸がないため、大幅に意匠性が向上します。



特殊フィルムとは?

耐候性に優れた特殊樹脂を不織布にコーティングし、さらに高耐候性遮熱塗料を塗布(グラビア加工)した高耐候性フィルムです。





特殊フィルムによる5つのメリット

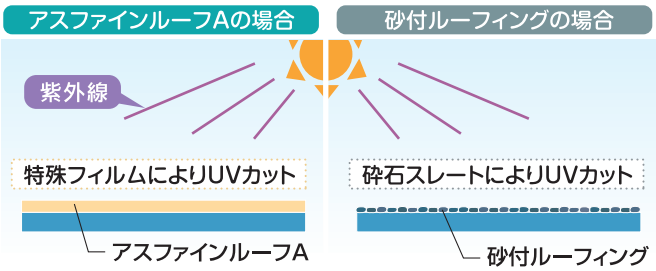
1. **低汚染** | フィルム仕上げとすることで、汚泥や花粉などの付着も少なく綺麗な仕上がりとなります。
2. **施工環境の向上** | フィルム表層の遮熱塗料の効果で、表面温度の上昇を抑制し、施工環境が向上します。また、フィルム仕上げとすることで仕上塗料の乾燥時間が短くなります。
3. **ルーフィングの軽量化** | 砂付ルーフィングをフィルムルーフィングとすることで、砂の重量がないため、約30%軽くなります。
4. **仕上塗料の塗布量を軽減** | 表面をフラットなフィルム仕上げとすることで、40%塗布量が軽減します。
5. **工具の消耗を抑制** | 表面をフラットなフィルム仕上げとすることで、工具(カッター、ウールローラー、転圧ローラー等)の消耗が大幅に抑制可能です。

メタルウェザーによる促進耐候性試験

アスファインルーフAは、防水層表面を紫外線に強い特殊フィルムとすることにより、防水層を紫外線から守る効果があります。写真は、サンシャインウェザーメーターの10倍以上の紫外線を照射する、メタルウェザー試験による結果です。大きな外観上の変化がなく、紫外線に対する耐候性が良好であることが確認できます。

初期写真

終了写真(1000時間)



メタルウェザー試験の目的と概要

目的 紫外線(UV)は防水製品を劣化させる大きな要因です。紫外線照射試験により、経年後の製品の状態を確認するために行います。

概要 強い紫外線光源をもつメタルハライドランプを製品に継続照射することで耐候性の確認を行うことが可能です。

仕様記号の見方

① 工 法

露出仕様	SAL(標準)
	SALE(高耐久)
保護仕様	FAL(単層密着)
	FALM(複層密着)
	FALP(複層絶縁)
屋内仕様	RAL
改修仕様	SALR

② 断熱の有無

非断熱	無し
断熱(防湿層なし)	I
断熱(防湿層あり)	M

③ 施工部位

平 場	無し
立上り	V
立上り1層目メッシュ	VM
立上り塗膜併用露出	CV
立上り露出塗膜	CVM

④ 仕上材

露出工法の場合

工法名称	露 出
プレノカラー遮熱	NZ
サーモロックカラーMB	MB
FPクール	FP
ハイクール	H
ロッコート	R
－	－

保護工法の場合

工法名称	保 護
保護コンクリート	C
アースキーパーG	G
ピロブロック	B
トップタイト	T
PFシステム	PF
カナート	CT

仕様一覧

仕 上	断熱材有無	仕様記号	耐用年数			備 考
			一般塗料	ハイクール	保 護	
露 出	非断熱	SAL-2	33	34	—	2層·表面砂付
		SAL-3	38	39	—	2層·表面フィルム
	断 熱	SALI-2	27	29	—	2層·表面砂付
		SALI-3	32	34	—	2層·表面フィルム
	断熱+防湿	SALM-2	27	29	—	2層·表面砂付
		SALM-3	32	34	—	2層·表面フィルム
	非断熱	SALE-2	—	55	—	3層·表面砂付(高耐久)
		SALE-3	—	60	—	3層·表面フィルム(高耐久)
	断 熱	SALEI-2	—	45	—	3層·表面砂付(高耐久)
		SALEI-3	—	50	—	3層·表面フィルム(高耐久)
	断熱+防湿	SALEM-2	—	45	—	3層·表面砂付(高耐久)
		SALEM-3	—	50	—	3層·表面フィルム(高耐久)
保 護	非断熱	FAL-1	—	—	30	単層·密着
	断 熱	FALI-1	—	—	35	単層·密着
	非断熱	FALM-22	—	—	55	2層·密着(高耐久)
	断 熱	FALMI-22	—	—	65	2層·密着(高耐久)
	非断熱	FALP-22	—	—	55	2層·絶縁(高耐久)
	断 熱	FALPI-22	—	—	65	2層·絶縁(高耐久)
	非断熱	FAL-11	—	—	80	3層·密着(高耐久)
	断 熱	FALI-11	—	—	95	3層·密着(高耐久)
屋 内	非断熱	RAL-100	—	—	—	単層·密着
改修 露出	非断熱	SALR-3	15	16	—	単層· 表面フィルム

露出仕様

適用下地 □RC □PC □ALC

SAL-2

非断熱

公共建築（改修）工事標準仕様書「D－1・2」同等

想定耐用年数 33年
適用勾配 1/50～1/20
重量 7.5kg

工程	平場		立上り SAL-2V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	シェーンサンド30F アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	シェーンサンド30F アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	仕上塗料		仕上塗料	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）

SAL-3

非断熱

公共建築（改修）工事標準仕様書「D－1・2」同等

想定耐用年数 38年
適用勾配 1/50～1/20
重量 7.1kg

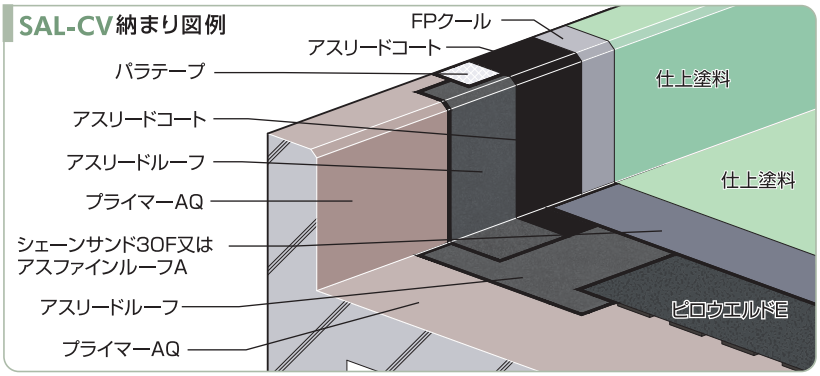
工程	平場		立上り SAL-3V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	仕上塗料		仕上塗料	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）

共通立上りオプション

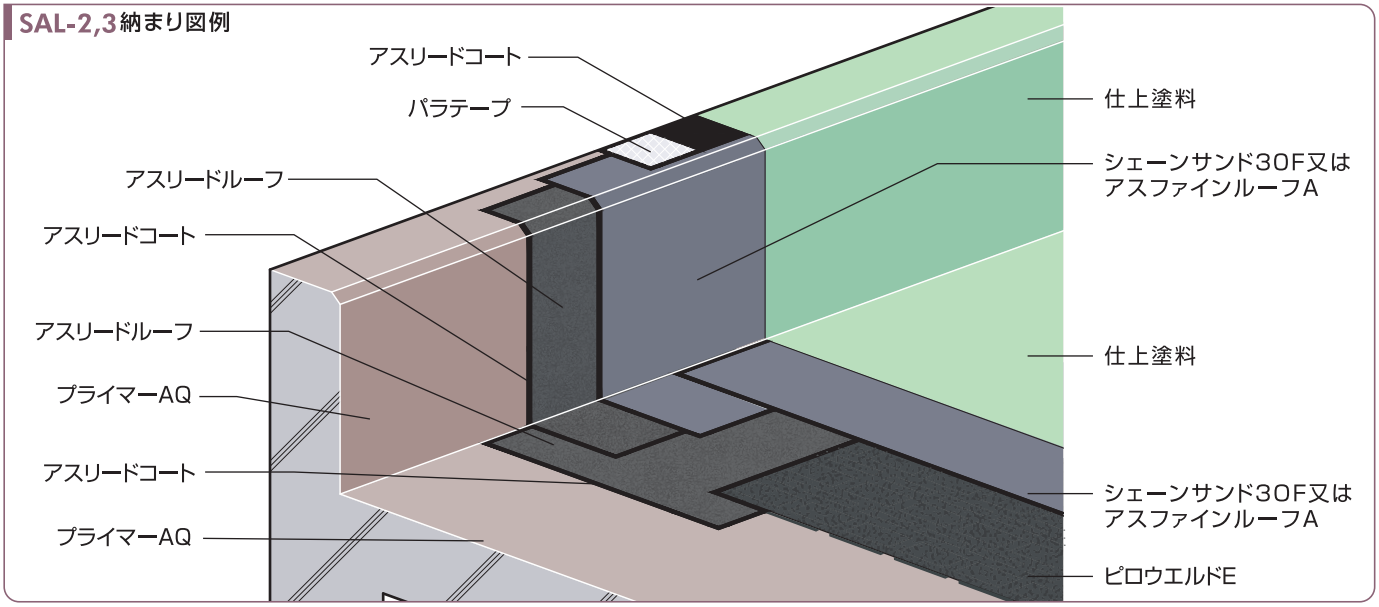
工程	SAL-CV	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	FPクール	0.3～0.4kg/m²
5	仕上塗料	

SAL-CV納まり図例



※工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）

SAL-2,3納まり図例



露出断熱仕様

適用下地 □RC □PC □ALC

SALI-2

断熱　防湿層無し

公共建築（改修）工事標準仕様書「DI-1・2」同等

想定耐用年数　27年

適用勾配　1/50～1/20

重量　10.6kg

工程	平場		立上り SAL-2V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	ピロウエルドE		シェーンサンド30F アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	シェーンサンド30F アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	仕上塗料	
5	仕上塗料		—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）
※飛び火認定適用の場合はp.36をご参照ください。

SALI-3

断熱　防湿層無し

公共建築（改修）工事標準仕様書「DI-1・2」同等

想定耐用年数　32年

適用勾配　1/50～1/20

重量　10.1kg

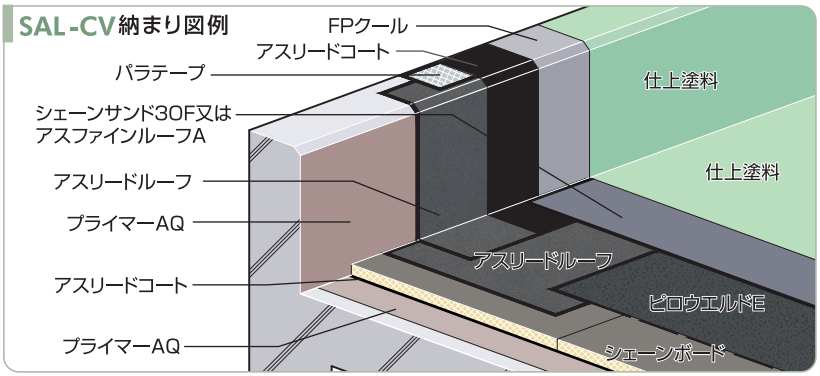
工程	平場		立上り SAL-3V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	ピロウエルドE		アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	仕上塗料	
5	仕上塗料		—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）
※飛び火認定適用の場合はp.36をご参照ください。

共通立上りオプション

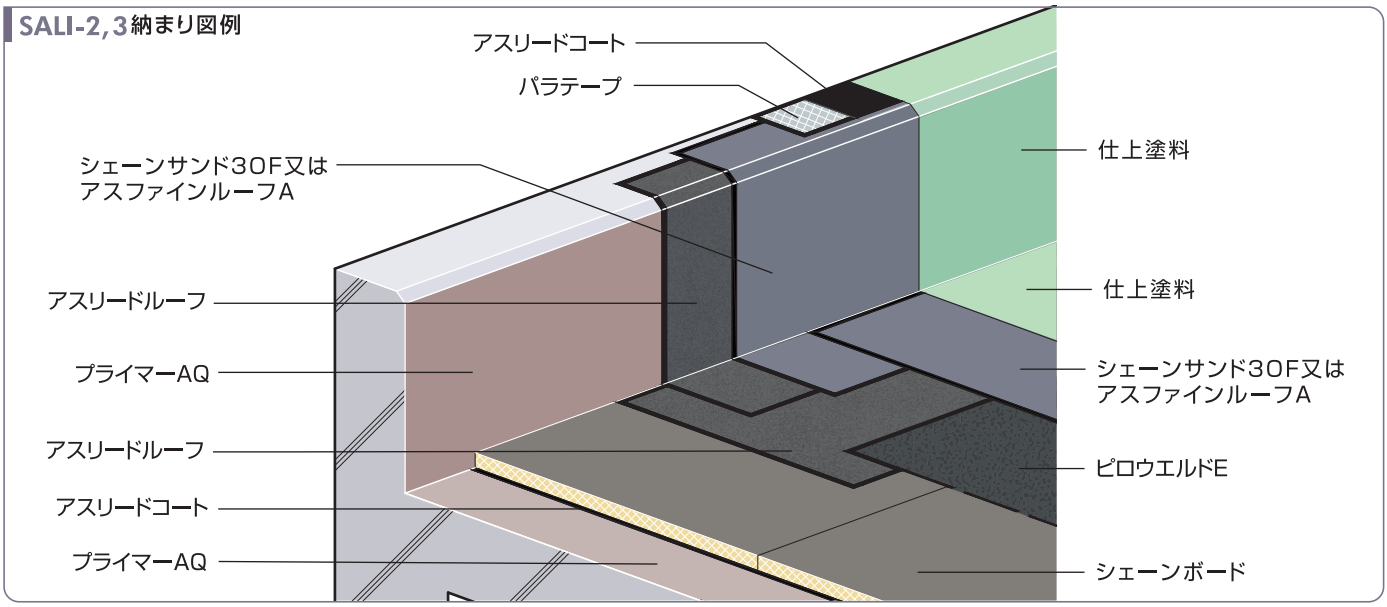
工程	SAL-CV	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	FPクール	0.3～0.4kg/m²
5	仕上塗料	

SAL-CV納まり図例



※工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）

SALI-2,3納まり図例



注意事項・変更可能な製品　詳細はp.23をご参照ください。

露出断熱仕様

適用下地 □RC □PC □ALC

SALM-2

断熱　防湿層 有り

公共建築（改修）工事標準仕様書
「DI-1・2」同等

想定耐用年数　27年
適用勾配　1/50～1/20
重量　12.1kg

工程	平場		立上り SAL-2V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	カスタムM		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	シェーンサンド30F アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	ピロウエルドE		仕上塗料	
5	シェーンサンド30F アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	—	
6	仕上塗料		—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）
※飛び火認定適用の場合はp.36をご参照ください。

SALM-3

断熱　防湿層 有り

公共建築（改修）工事標準仕様書
「DI-1・2」同等

想定耐用年数　32年
適用勾配　1/50～1/20
重量　11.6kg

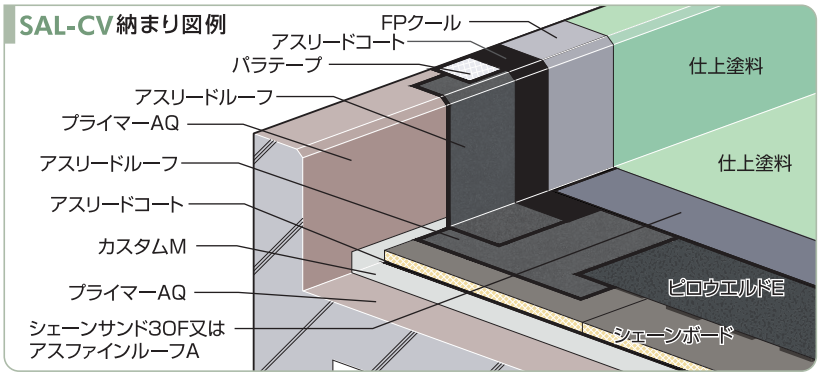
工程	平場		立上り SAL-3V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	カスタムM		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	ピロウエルドE		仕上塗料	
5	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	—	
6	仕上塗料		—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）
※飛び火認定適用の場合はp.36をご参照ください。

共通立上りオプション

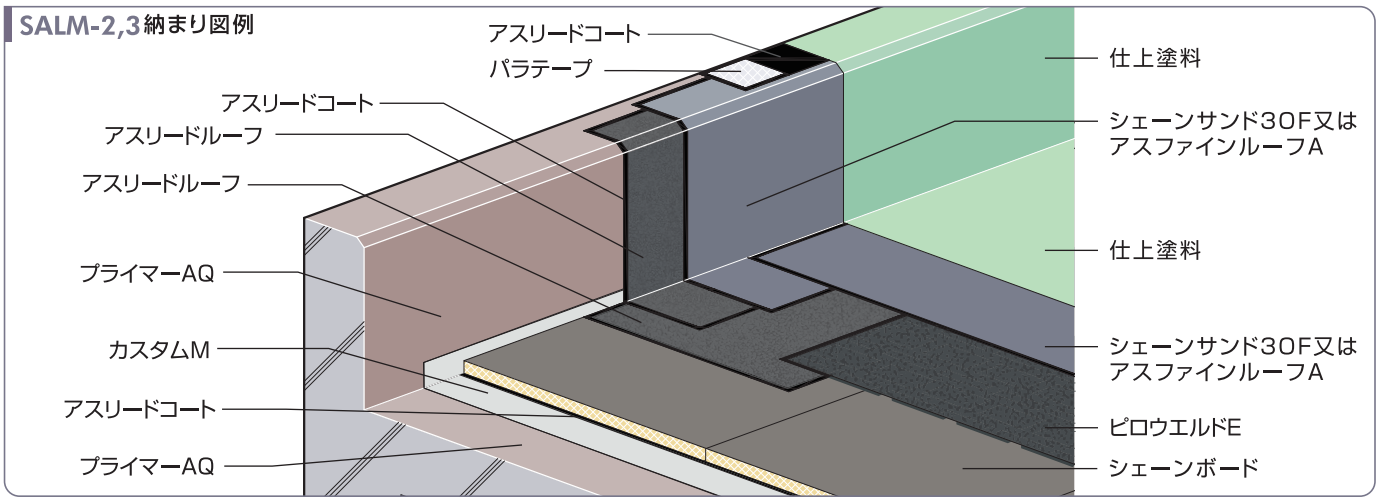
工程	SAL-CV	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	FPクール	0.3～0.4kg/m²
5	仕上塗料	

SAL-CV納まり図例



※工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.40参照）

SALM-2,3納まり図例



高耐久露出仕様

適用下地 □RC □PC □ALC

SALE-2

非断熱

想定耐用年数 55年
適用勾配 1/50～1/20
重量 11.8kg

工程	平場		立上り SALE-2V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	シェーンサンド30F アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	シェーンサンド30F アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	ハイクール	0.3kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
6	ハイクール	0.3kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
7	ハイクール	0.3kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.40参照)

SALE-3

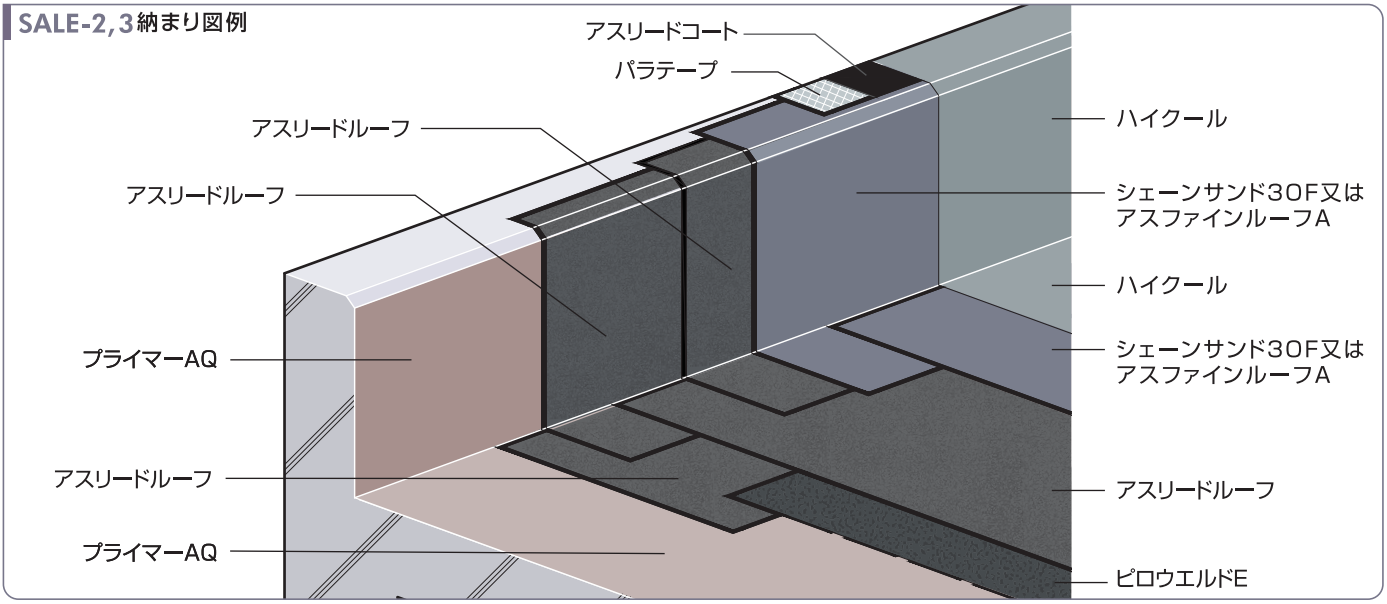
非断熱

想定耐用年数 60年
適用勾配 1/50～1/20
重量 10.9kg

工程	平場		立上り SALE-3V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	ハイクール	0.15kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
6	ハイクール	0.15kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
7	ハイクール	0.15kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.40参照)

SALE-2,3納まり図例



注意事項・変更可能な製品 詳細はp.23をご参照ください。

高耐久露出断熱仕様

SALEI-2

断熱　防湿層無し

想定耐用年数	45年
適用勾配	1/50～1/20
重量	14.8kg

工程	平場		立上り SALE-2V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	シェーンサンド30F アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	シェーンサンド30F アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
6	ハイクール	0.3kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
7	ハイクール	0.3kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
8	ハイクール	0.3kg/m²	―	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.40参照)
※飛び火認定適用の場合はp.36をご参照ください。

SALEI-3

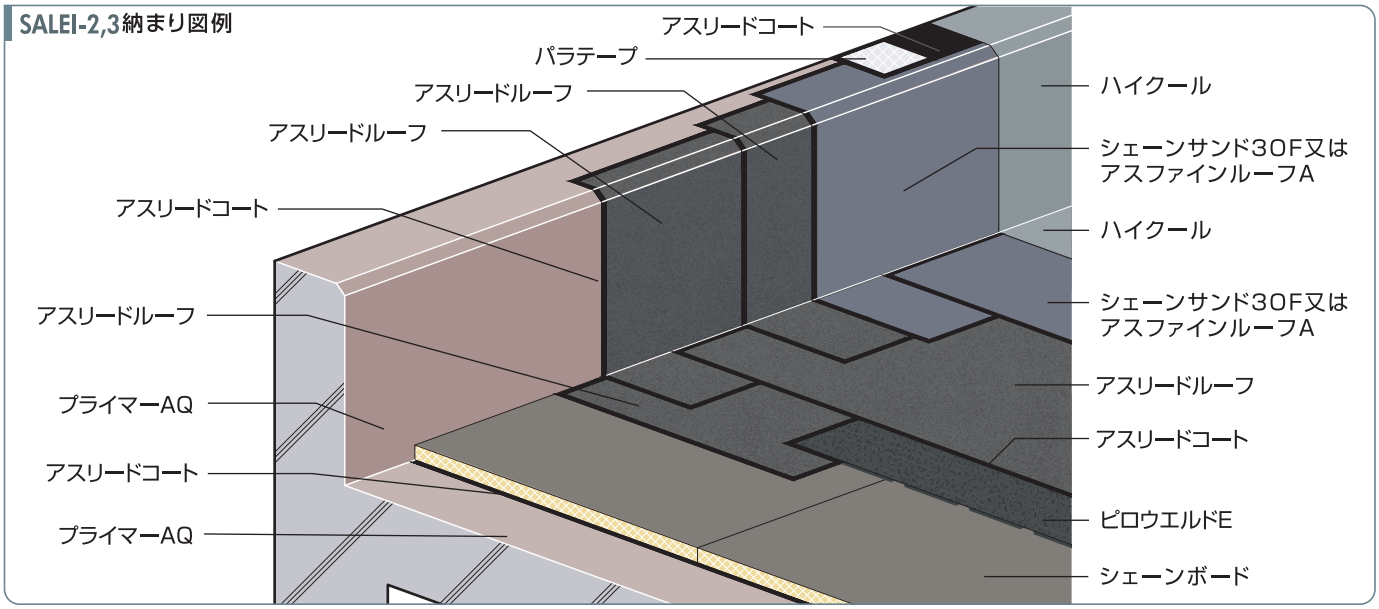
断熱　防湿層無し

想定耐用年数	50年
適用勾配	1/50～1/20
重量	13.9kg

工程	平場		立上り SALE-3V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
6	ハイクール	0.15kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
7	ハイクール	0.15kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
8	ハイクール	0.15kg/m²	―	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.40参照)

SALEI-2,3納まり図例



適用下地 □RC □PC □ALC

SALEM-2

断熱　防湿層 有り

想定耐用年数	45年
適用勾配	1/50～1/20
重量	16.3kg

工程	平場		立上り SALE-2V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	カスタムM		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	ピロウエルドE		シェーンサンド30F アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
6	シェーンサンド30F アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
7	ハイクール	0.3kg/m²	ハイクール	0.3kg/m²
8	ハイクール	0.3kg/m²	—	
9	ハイクール	0.3kg/m²	—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.41参照)
※飛び火認定適用の場合はp.36をご参照ください。

SALEM-3

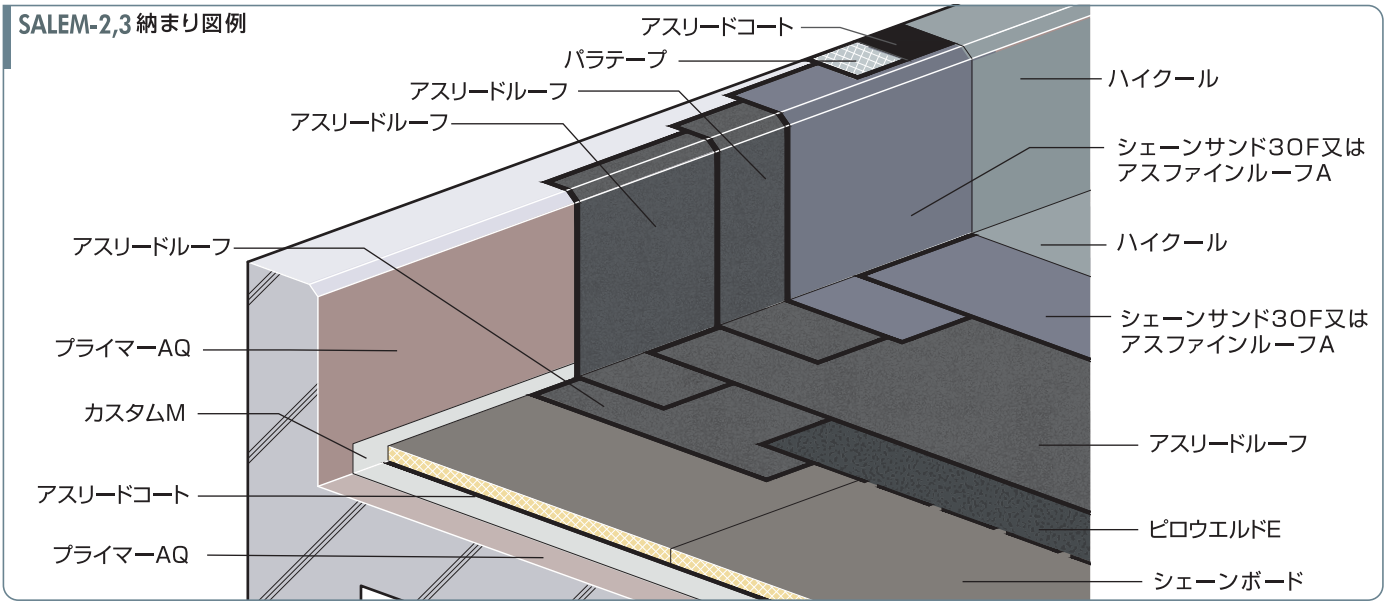
断熱　防湿層 有り

想定耐用年数	50年
適用勾配	1/50～1/20
重量	15.4kg

工程	平場		立上り SALE-3V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	カスタムM		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	シェーンボード アスリードコート	1.5kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	ピロウエルドE		アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
6	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
7	ハイクール	0.15kg/m²	ハイクール	0.15kg/m²
8	ハイクール	0.15kg/m²	—	
9	ハイクール	0.15kg/m²	—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.41参照)

SALEM-2,3 納まり図例



注意事項・変更可能な製品　詳細はp.23をご参照ください。

保護仕様

適用下地 □RC □PC

FAL-1

非断熱　密着

公共建築（改修）工事標準仕様書
「A-1・2・3」「B-1・2」同等

想定耐用年数　30年
適用勾配　1/100～1/50
重量　5.1kg

工程	平場		立上り FAL-1V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート 流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	PTクロス		—	

※立上り工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.41参照）

FALI-1

断熱　密着

公共建築（改修）工事標準仕様書
「AI-1・2・3」「BI-1・2」同等

想定耐用年数　35年
適用勾配　1/100～1/50
重量　6.4kg

工程	平場		立上り FAL-1V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	BKボードE		—	
5	PTクロス アスリードコート点張り	0.2kg/m²	—	

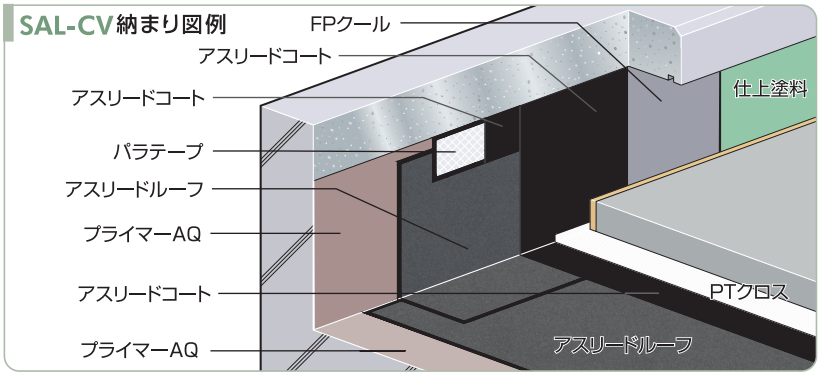
※立上り工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ＋アスリードコート1.0kg/m²+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.41参照）

立上り露出の場合

※SAL-2V、SAL-3Vも選択可能です。

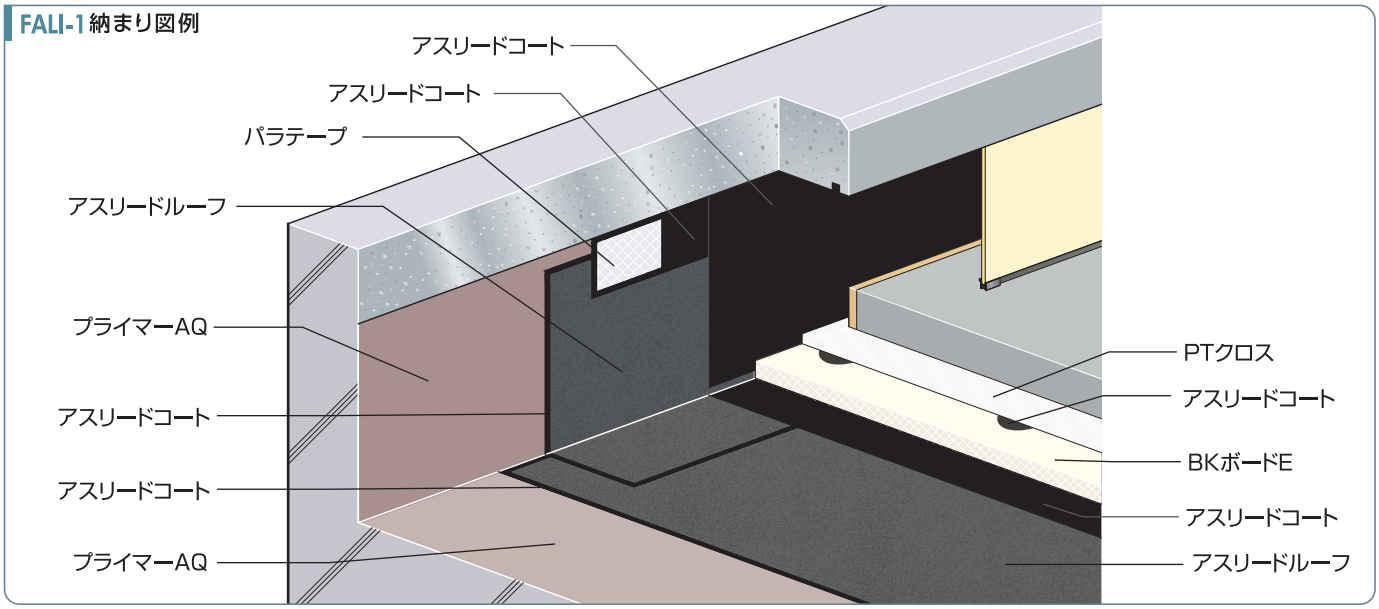
工程	塗膜仕上げ SAL-CV	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	FPクール	0.3～0.4kg/m²
5	仕上塗料	

SAL-CV納まり図例



※工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ＋アスリードコート1.0kg/m²＋アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.41参照）

FALI-1納まり図例



高耐久保護仕様

適用下地 □RC □PC

FALM-22

非断熱　密着

想定耐用年数　55年
適用勾配　1/100～1/50
重量　8.5kg

工程	平場		立上り FAL-22V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート 流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート 流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
5	PTクロス		―	

※立上り工程２は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ＋アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.41 参照)

FALMI-22

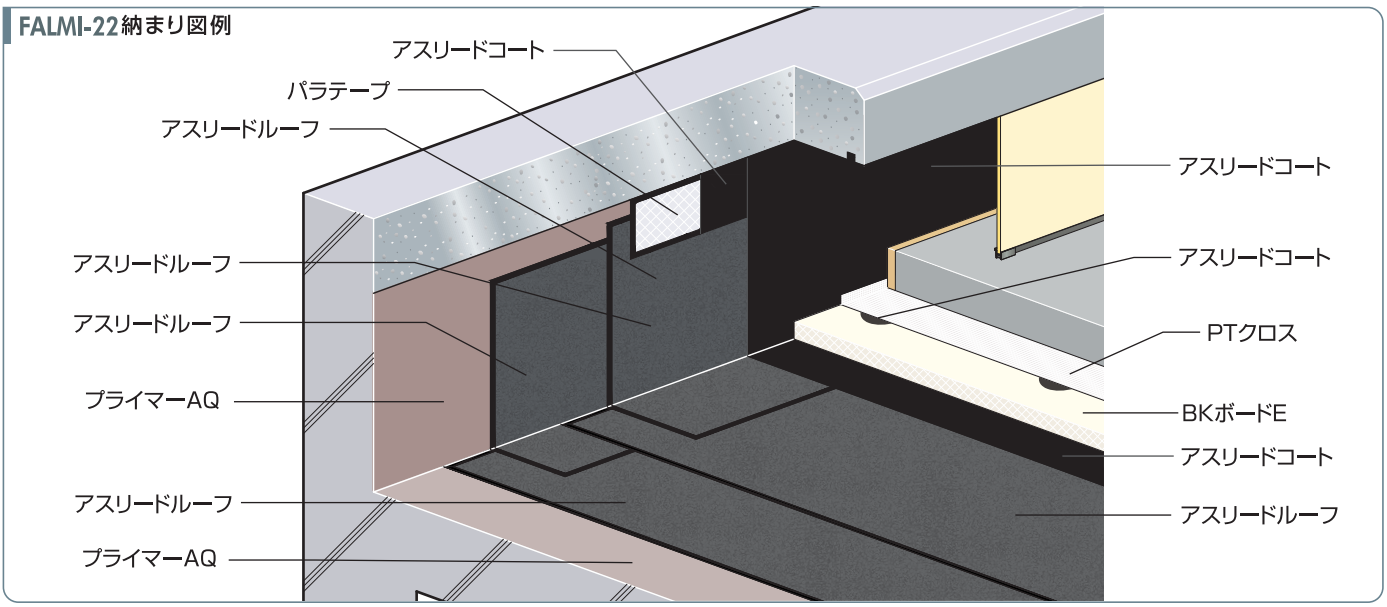
断熱　密着

想定耐用年数　65年
適用勾配　1/100～1/50
重量　9.8kg

工程	平場		立上り FAL-22V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
5	BKボードE		―	
6	PTクロス アスリードコート点張り	0.2kg/m²	―	

※立上り工程２は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.41 参照)

FALMI-22納まり図例



注意事項・変更可能な製品　詳細はp.23をご参照ください。

高耐久保護仕様

FALP-22

非断熱　絶縁

想定耐用年数　55年
適用勾配　1/100～1/50
重量　7.3kg

工程	平場		立上り FAL-22V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート 流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
5	PTクロス		―	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.42参照)

FALPI-22

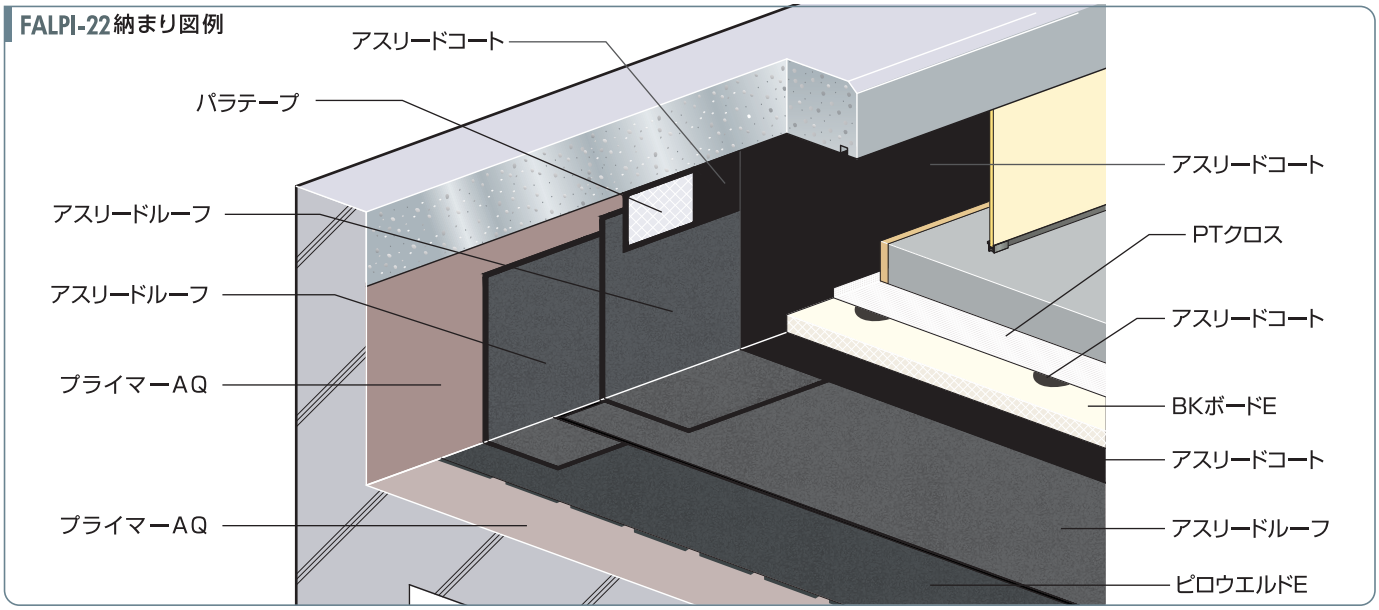
断熱　絶縁

想定耐用年数　65年
適用勾配　1/100～1/50
重量　8.6kg

工程	平場		立上り FAL-22V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	ピロウエルドE		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
5	BKボードE		―	
6	PTクロス アスリードコート点張り	0.2kg/m²	―	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.42参照)

FALPI-22納まり図例



注意事項・変更可能な製品　詳細はp.23をご参照ください。

適用下地 □RC □PC

FAL-11

非断熱　密着

想定耐用年数　80年
適用勾配　1/100～1/50
重量　11.8kg

工程	平場		立上り FAL-11V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート 流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードルーフ アスリードコート 流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
6	PTクロス		—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.42参照)

FALI-11

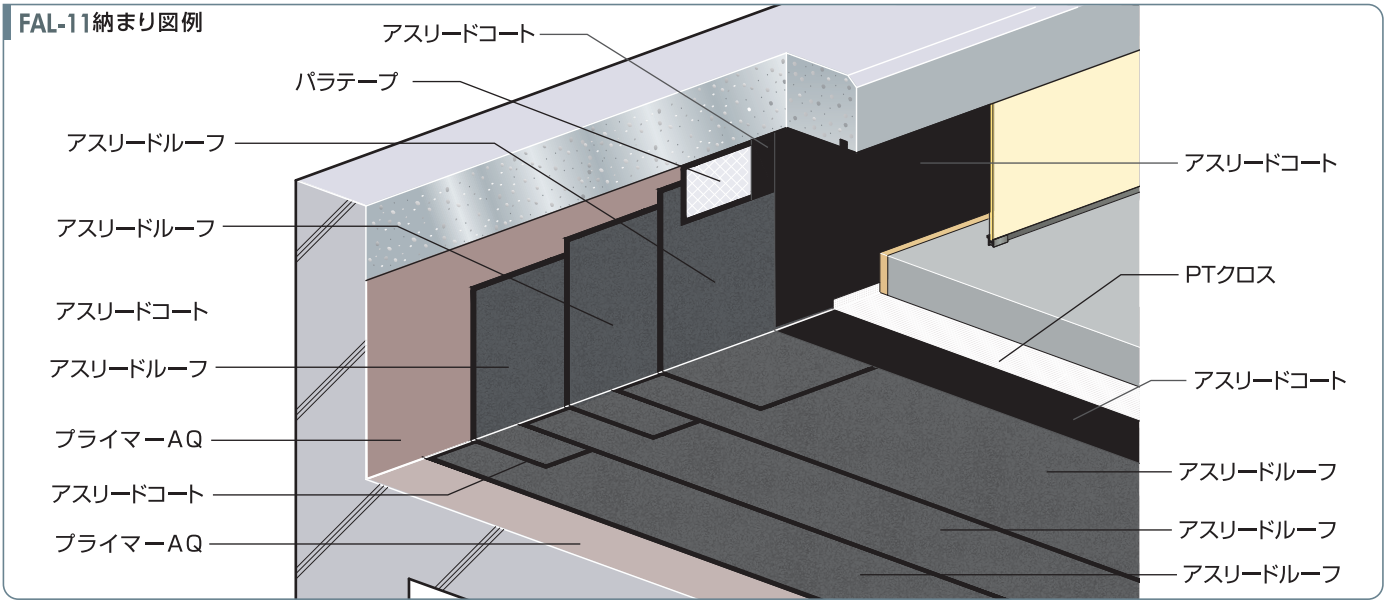
断熱　密着

想定耐用年数　95年
適用勾配　1/100～1/50
重量　13.1kg

工程	平場		立上り FAL-11V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
5	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
6	BKボードE		—	
7	PTクロス アスリードコート点張り	0.2kg/m²	—	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。(p.42参照)

FAL-11納まり図例



注意事項・変更可能な製品　詳細はp.23をご参照ください。

屋内仕様

適用下地 □RC □PC

RAL-100

非断熱　密着

公共建築（改修）工事標準仕様書
「E-1・2」同等

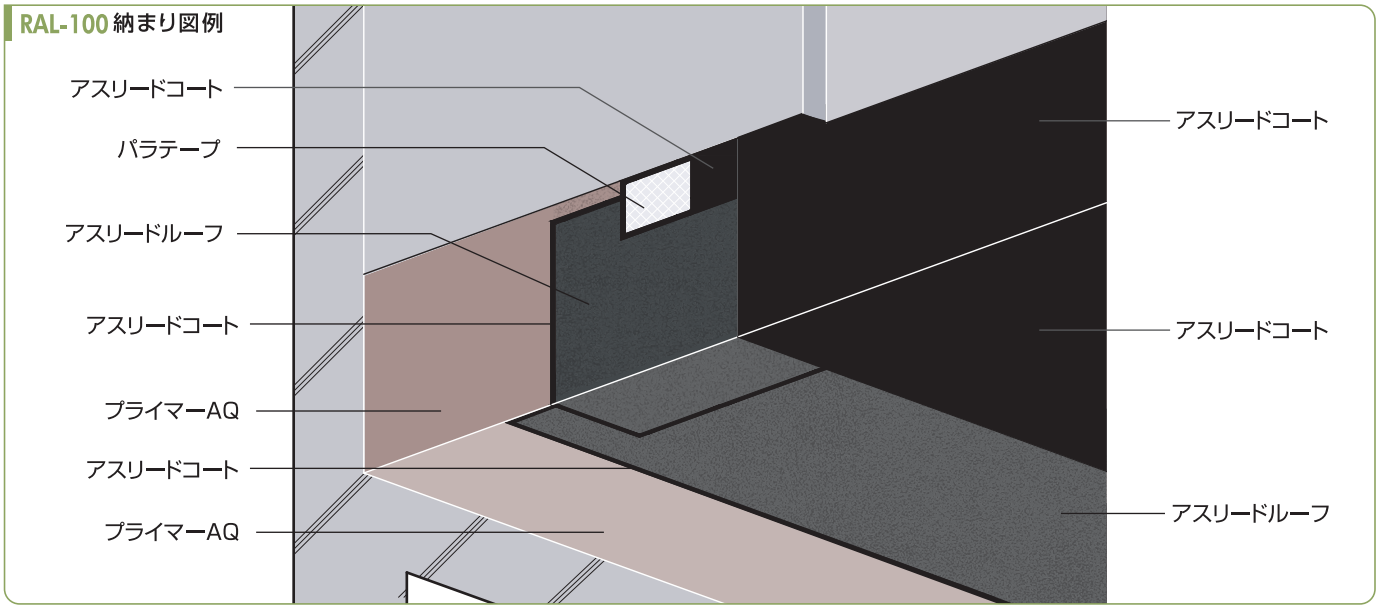
適用勾配　1/100～1/50

重量　5.0kg

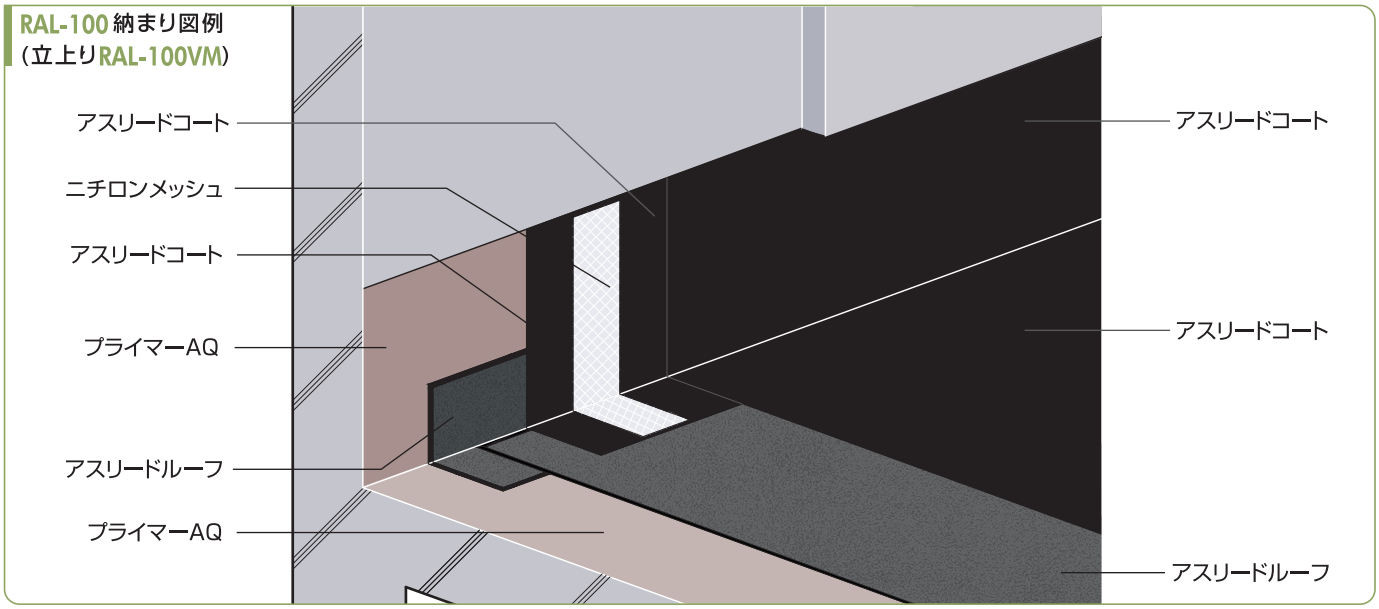
工程	平場		立上り RAL-100V	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²

※立上り工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ＋アスリードコート1.0kg/m²＋アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（下記及び p.42 参照）

RAL-100 納まり図例



RAL-100 納まり図例
（立上りRAL-100VM）



改修仕様

適用下地 □ 既存アスファルト防水層

SALR-3

非断熱

公共建築改修工事標準仕様書
「C-1・2・3・4」同等

想定耐用年数	15年
適用勾配	1/50～1/20
重量	6.2kg

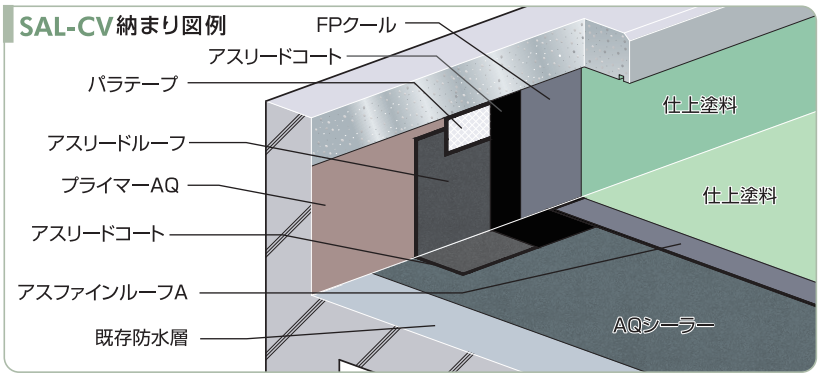
工程	平場		立上り SALR-3V	
下地処理	AQ シーラー	1.5kg/m²	原則撤去	
1	アスファインルーフA アスリードコート流し張り	1.2kg/m²	プライマーAQ	0.2kg/m²
2	仕上塗料		アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	―		アスファインルーフA アスリードコート張付け	1.2kg/m²
4	―		仕上塗料	

※立上り工程2は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ+アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.42参照）

共通立上りオプション

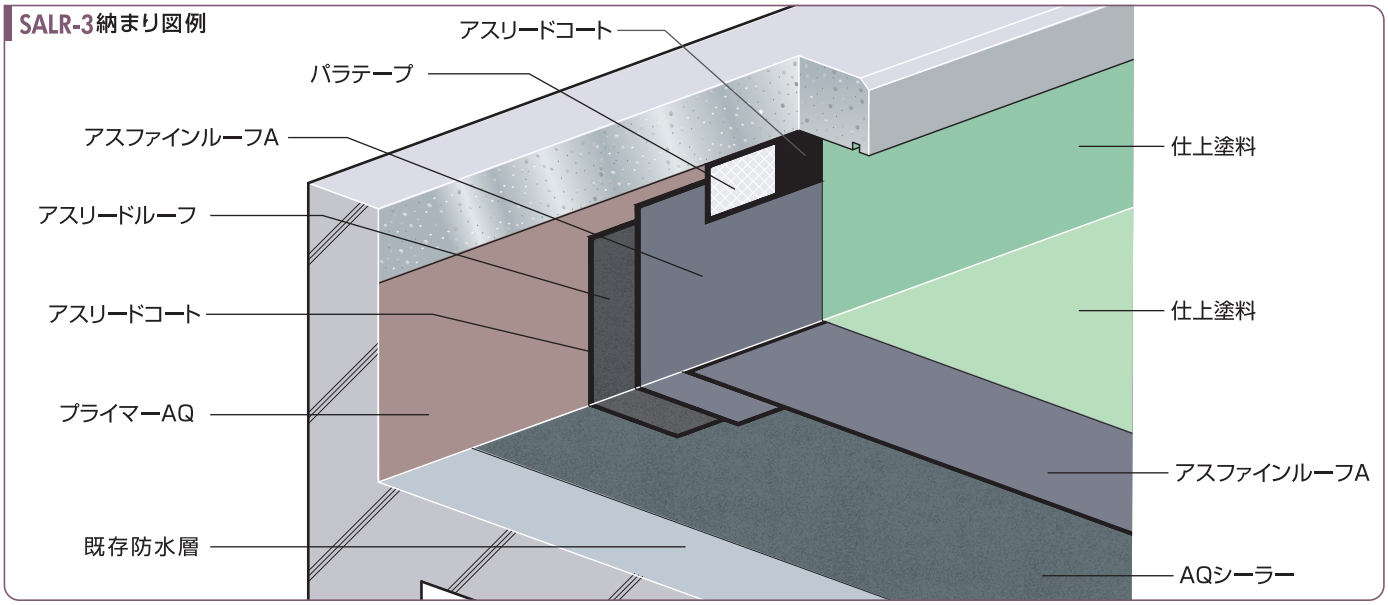
工程	SAL-CV	
1	プライマー AQ	0.2kg/m²
2	アスリードルーフ アスリードコート張付け	1.2kg/m²
3	アスリードコートはけ塗り	1.5kg/m²
4	FPクール	0.3～0.4kg/m²
5	仕上塗料	

SAL-CV納まり図例



※工程2～3は「アスリードコート1.0kg/m²＋ニチロンメッシュ＋アスリードコート1.0kg/m²＋アスリードコート1.0kg/m²」に変更可能です。
その際は、立上り仕様記号の末尾に「M」を付けます。（p.42参照）

SALR-3納まり図例



注意事項・変更可能な製品 詳細はp.23をご参照ください。

露出仕様 仕上塗料

製品名称	記号	種　類	塗布量の目安※1		塗替の目安	加算耐用年数
			砂　付	アスファイン		
プレノカラー遮熱	NZ	カラー遮熱	0.5kg/m²	0.3kg/m²	7～9年	−
サーモロックカラーMB	MB	暗色系カラー遮熱	0.5kg/m²	0.3kg/m²	7～9年	−
FPクール	FP	飛び火抑制･遮熱	0.8kg/m²	0.5kg/m²	10～13年	−
ハイクール	H	高耐候性遮熱	0.5kg/m²	0.3kg/m²	10～13年	1/2年※2

※1 高耐久仕様の場合を除く
※2 ハイクールの加算年数は非断熱で「1年」断熱工法で「2年」とします。

露出仕様 仕上材

製品名称	記号	備考
トップタイト	T	アスファルト成形板 USボンドA 1.5kg/m² 全面張付
アースキーパーG	G	保水パネル 置き敷き若しくは接着剤張付
PFシステム	PF	乾式浮床工法 詳細は『PFシステム』専用カタログをご参照ください

※ トップタイト、PFシステムは非断熱仕様のみ対応です。

露出塗膜仕様 仕上塗料

製品名称	記号	種類	塗布量の目安	
			FPクール（下塗り）※	仕上塗料 上塗り
プレノカラー遮熱	NZ	カラー遮熱	0.3～0.4kg/m²	0.3kg/m²
サーモロックカラーMB	MB	暗色系カラー遮熱		0.3kg/m²
ハイクール	H	高耐候性遮熱		0.3kg/m²

※ 露出塗膜に保護塗料を塗布する際は、下塗り材として FPクールを塗布し、その上に仕上塗料を塗布（2回塗り）します。

保護仕様 仕上材

製品名称	記号	備考	適　応		
			非断熱（密着）	非断熱（露出）	断　熱
コンクリート	C	−	○	○	○
アースキーパー G	G	保水パネル	○	○	−
ピロブロック	B	成型ブロック	○	○	○
PFシステム	PF	乾式浮床工法	○	○	○
カナート	CT	緑化工法	○	○	−
トップタイト	T	アスファルト成形板	△※	○	−

※ 非断熱の密着工法の仕上材に『トップタイト』を使用する場合は、最寄りの営業所までご相談ください。

注意事項

■仕上塗料について

弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合には、不具合が発生する恐れがあるため、ご注意ください。
仕上塗料は「塗替えの目安」毎に塗布してください。

■保護仕様について

コンクリート仕上げ以外の場合はPTクロスを省略し立上りを露出仕上げとします。
平場1層目の絶縁ルーフィングは、入隅より300～500mm程度離して施工することも可能です。PFシステムを採用の際、耐風圧を考慮し防水層や断熱材と接着させる場合はご相談ください。高耐久仕様「FALM-22」「FALP-22」「FALMI-22」「FALPI-22」「FAL-11」「FALI-11」の立上りは露出仕上げにはできません。

■屋内仕様について

屋内仕様では特に十分に換気した上で施工してください。
浴室やシャワー室等は、湯水のかかりを考慮し、壁面防水層の立上り高さを十分にとってください。
温湯パイプを通す場合は、必ずスリーブ管を使用し、防水層はスリーブ管に張り掛けてください。
給排水管、ガス管等の貫通物は、スラブへ強固に固定されていることをご確認ください。
屋内仕様では「速乾プライマー」はご使用になれません。

■露出仕様について

防水層の膨れが予想される場合は、平場用脱気装置「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置してください。
平場からの脱気が困難な場合は、立上り用脱気装置「ニューパラベント」を長さ10m間隔に1個設置してください。

■断熱材について

- **シェーンボード:** 25·30·35·40·50·60(受注生産)mmから選択可能です。60mmを超える場合は張り重ねてご使用ください。
- **BKボードE:** 25·30·35·40·50·60(受注生産)mmから選択可能です。60mmを超える場合は張り重ねてご使用ください。

■立上り塗膜工法について(アスリードルーフを使用せずメッシュ併用の工法) ※増張り併用

以下のような場合、立上り塗膜工法は推奨しません。
- 金属·PC·ALCパネル下地等、下地凹凸及び動きが大きいと予想される場合
- シート類で十分に納まるような立上りの形状の場合
- 高耐久仕様の場合

■末端部のメッシュ締め省略について

次の条件のどちらかを満たしている場合、防水端末部のメッシュ締めを省略できます。
- 立上り施工時に下地面にハケで下塗りを行う。
- 巻き上げ張りを行う。

変更可能な製品

	変更前	変更後	備考
アスファルト系プライマー	プライマー AQ	アスファルトプライマー 速乾プライマー※1	気象条件や施工条件による(要換気)
断熱材· PTクロス※2用接着剤	アスリードコート	USボンドA※3	
防水層端末処理	パラテープ＋アスリードコート	押え金物＋マルチシール·カスタムコーチング S※4	
防湿用ルーフィング	カスタム M	SPルーフM＋アスリードコート 1.2kg/m²	
部分粘着層付ルーフィング	ピロウエルドE	ピロウエルドEW	
保護単層仕様の立上り露出仕様に用いるルーフィング	シェーンサンド30F	アスファインルーフA(SAL-3V)	(　)内は仕様記号
既存平場防水層の下地処理	AQシーラー 1.5kg/m²	マルエスシーラー 0.8～1.2kg/m² アスリードコート 1.0kg/m²	

※1 RAL-100仕様に限り「速乾プライマー」はご使用になれません。
※2 PTクロスをアスリードコートで張り付ける場合は、低温のアスリードコートで施工します。
※3 断熱材をUSボンドAで接着する場合は、アスファルト系プライマーを塗布せず、USボンドAを塗布します。
※4 押え金物に変更する場合は、防水層端部を揃えて施工します。

仕上塗料

プレノカラー遮熱 グリーン購入法適合

水性 遮熱

遮熱効果を持つ水性アクリル系カラー塗料です。
防水層を紫外線から保護すると共に、熱的劣化を抑制することができます。

規格：16.3kg缶入　**塗布量の目安**：0.5kg/m²　**塗替の目安**：7～9年　**仕様記号**：NZ

色　相	ライトグレー	シルバーグレー	ミドルグリーン
日塗工番号※1	25-75A	N-60	39-60L
日射反射率※2	73.0%	61.1%	59.9%

サーモロックカラーMB グリーン購入法適合

水性 遮熱 防眩

受注生産※

明度を下げた遮熱効果を持つ暗色系水性アクリル系カラー塗料です。
照り返しの眩しさが気になる屋根や、従来の塗料では意匠的に明るすぎると感じる屋根に最適です。

規格：16.3kg缶入　**塗布量の目安**：0.5kg/m²　**塗替の目安**：7～9年　**仕様記号**：MB

色　相	グレー	グリーン	アッシュグリーン	トープ	レンガ	ブラウン
日塗工番号※1	65-50B	39-50H	45-50D	19-50B	09-50L	09-40H
日射反射率※2	59.0%	54.8%	56.0%	58.8%	63.0%	54.5%

FPクール グリーン購入法適合

水性 遮熱 飛び火抑制

受注生産※

遮熱効果と飛び火抑制機能を併せ持つ水性アクリル系カラー塗料です。
防水層の熱的･紫外線劣化や、飛び火などによる延焼を抑制することができます。

規格：18kg缶入　**塗布量の目安**：0.8kg/m²　**塗替の目安**：10～13年　**仕様記号**：FP

色　相	ホワイト	ライトグレー	ライトグリーン
日塗工番号※1	N-90	25-75A	39-80D
日射反射率※2	69.0%	62.8%	62.9%

ハイクール グリーン購入法適合

水性 遮熱 高耐候

高い遮熱効果と耐候性を併せ持つ水性アクリルシリコン系カラー塗料です。
日射反射率が高く、防水層の熱的･紫外線劣化を抑制することができます。

規格：16kg缶入　**塗布量の目安**：0.5kg/m²　**塗替の目安**：10～13年　**仕様記号**：H

色　相	ホワイト	ミドルグレー	ライトグリーン
日塗工番号※1	N-95	35-65A	39-80D (50%濃)
日射反射率※2	85.4%	76.0%	77.3%

※1 近似色です。　※2 近赤外線領域の数値です。

特殊塗料

ロッコート

水性 飛び火抑制

受注生産※

合成樹脂、無機難燃化剤等を主成分とする水性カラー塗料です。
防水層の劣化を防ぐだけでなく、飛び火などによる延焼を抑制することができます。

規格：20kg缶入　**塗布量の目安**：0.8～2.0kg/m²　**塗替の目安**：7～9年　**仕様記号**：R

色　相	ミドルグレー	ライトグリーン
日塗工番号※1	N-65	37-80D

※1 近似色です。

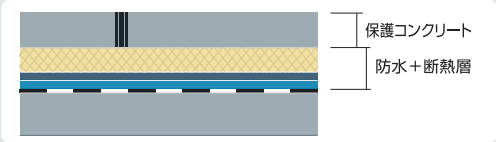
グリーン購入法の説明はこちらへ ▼

※受注生産　納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

保護コンクリート仕上げ

屋上活用　歩　行

保護防水で最も標準的な仕上材です。重歩行設計や設備が多い建物に最適です。



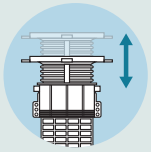
荷重　約200kg／m²
（t=80mm　比重を2.5とした場合）

PFシステム（乾式浮床工法）カナートとの併用施工可能!!

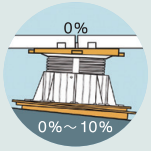
バリアフリー　屋上活用　重量軽減

屋上･バルコニー･テラスなどで、高さを任意に調整できる支持脚と多彩な仕上材から構成される乾式浮床仕上げ工法です。バリアフリー設計や屋上活用などに最適なシステムです。

荷重　木質系: 約25～35kg／m²　コンクリート系: 約98kg／m²



高さ調整が可能
（17mm～700mm）



勾配調整が可能
（U-PH5併用で最大10%）

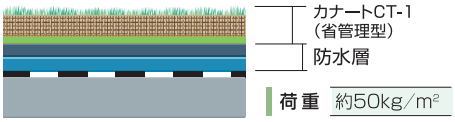
施工ビデオは
こちらから

カナート（緑化工法）PFシステムとの併用施工可能!!　グリーン購入法適合

屋上活用

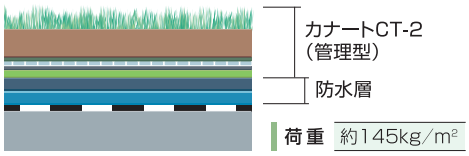
降雨の多い日本の気候風土を考慮して開発された緑化工法です。セダムやキリンソウを植栽の標準としたパネル型緑化システム（省管理型）と、中木･低木･芝･草花類など様々な植栽に対応可能なカナート緑化基盤システム（管理型）があります。

省管理型（CT-1）



荷重　約50kg／m²

管理型（CT-2）



荷重　約145kg／m²

アースキーパーG（保水パネル）

屋上活用　保 水 性

微細な多孔を有する骨材と吸水性に優れた繊維をセメントで固めた保水パネルです。「打ち水効果」によるヒートアイランド現象の緩和や、断熱効果が期待できます。

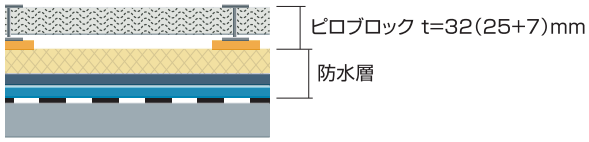
荷重　乾燥時：約44kg／m²　湿潤時：約51kg／m²

規格　298mm×298mm　t＝26mm

ピロブロック（コンクリートブロック）

重量軽減

表面に紋様がある、コンクリート成型板です。防水層の上に連結金物を用いて置き敷きするため、施工が容易です。



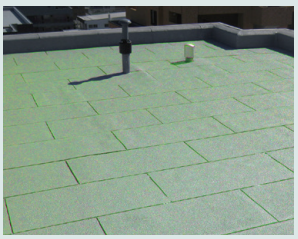
荷重　約55kg／m²

規格　450mm×450mm　t＝25mm

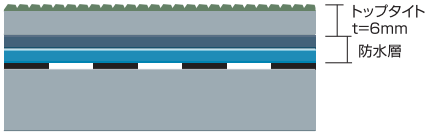
トップタイト（アスファルト成形板）

軽歩行※　屋上活用　重量軽減

※断熱工法の場合を除きます。



表面に化粧砂粒を圧着したアスファルト成形板です。
防水層の上に接着剤を用いて貼り付けるため、施工が容易です。



荷重　約11kg／m²

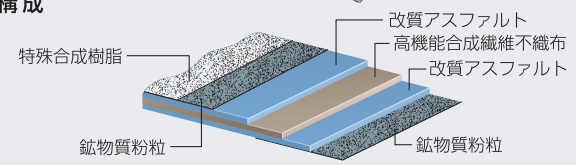
規格　1m×0.5m
t＝6mm

ルーフィング

アスリードルーフ

高機能合成繊維不織布を基材とした改質アスファルトルーフィングです。

構成

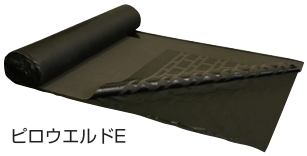


規格 1m×16m　30kg/巻　t＝1.7mm

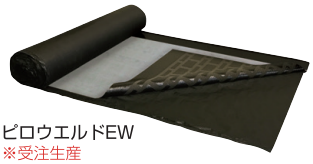
JIS A 6013 改質アスファルトルーフィングシート　非露出複層防水用R種Ⅱ類

ピロウエルドE・ピロウエルドEW

合成繊維不織布を基材とした部分粘着層付き改質アスファルトルーフィングです。絶縁機能（部分粘着）を持ち、下張り用に使用します。
※EWは表面白色塗料仕上げ

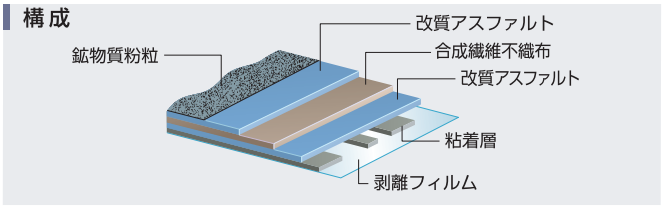


ピロウエルドE



ピロウエルドEW
※受注生産

構成

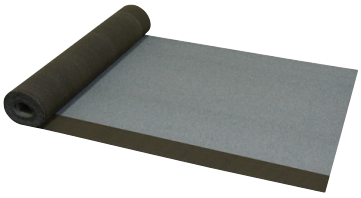


規格 1m×16m　30kg/巻　t＝1.5mm

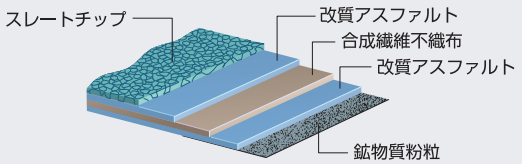
JIS A 6013 改質アスファルトルーフィングシート　露出複層防水用R種Ⅱ類

シェーンサンド30F

合成繊維不織布を基材とした砂付改質アスファルトルーフィングです。露出防水の最上層に使用します。



構成

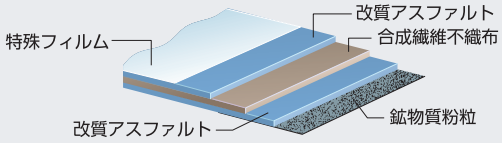


規格 1m×8m　28kg/巻　t＝3.0mm

アスファインルーフA

合成繊維不織布を基材とした高伸長･高強度改質アスファルトルーフィングです。露出防水の最上層に使用します。（特殊加工したフィルム仕上）

構成



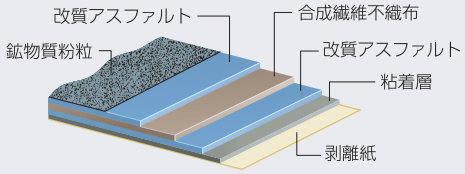
規格 1m×10m　31kg/巻　t＝2.5mm

防湿層

カスタムM

合成繊維不織布を基材とした粘着層付き改質アスファルトルーフィングです。全ての露出断熱工法の防湿層として使用します。

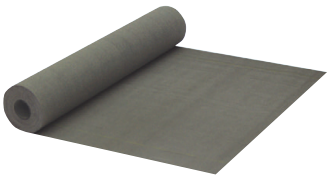
構成



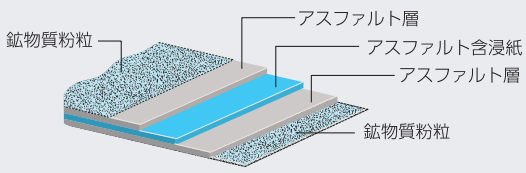
規格 1m×16m　21kg/巻　t＝1.0mm

SPルーフM

フェルト状の原紙を基材としたアスファルトルーフィングです。防湿層として使用します。



構成



規格 1m×16m　24.5kg/巻

防水工事用改質アスファルト塗膜防水材

アスリードコート

加熱型高耐久改質アスファルト塗膜防水材です。

規格 10kg/フィルム

プライマー

プライマーAQ

アスファルトをベースとした、水性系プライマーです。主にアスファルト系防水に使用します。

規格 16kg/缶入り

アスファルトプライマー

アスファルトをベースとした、溶剤系プライマーです。主にアスファルト系防水に使用します。

規格 15kg/缶入り

速乾プライマー

ゴムアスファルトをベースとした、屋外専用の溶剤系プライマーです。

規格 15kg/缶入り

補助材

ニチロンメッシュ

JIS A 6012 網状アスファルトルーフィング適合の合成繊維網状ルーフィングです。

規格 1m×33m 10kg/巻

パラテープ

ニチロンメッシュを10cm幅に裁断した製品です。アスファルト防水層端末部の補強増張り用として使用します。

規格 10cm×33m
3kg/ケース（3巻入）

PTクロス

絶縁用シート（フラットヤーンクロス）です。保護仕様で使用し、保護層の動きによる防水層や断熱材の損傷を抑制します。

規格 1m×200m 15kg/巻

接着剤・シール材

USボンドA

1液型無溶剤タイプのアスファルト系接着剤です。断熱材等の張付けに使用します。

規格 20kg・10kg/缶入り
330mL カートリッジ24本/箱入

マルチシール

高耐候性変成シリコーン系シール材です。
防水層端末部のシール等に使用します。

規格 330mLカートリッジ 24本/箱入

カスタムコーチングS

ゴムアスファルト系シール材です。防水層端末部のシール等に使用します。

規格 22kg・11kg/缶入り
330mLカートリッジ 24本/箱入

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

断熱材

BKボードE

グリーン購入法適合

押出成形ポリスチレン系断熱材です。主に保護仕様に使用します。JIS A 9521（建築用断熱材）押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bAの認証品です。

規格

寸　法（mm）	910 × 910
厚　さ（mm）	25、30、35、40、50、60（受注生産）
圧縮強度	20 N／cm² 以上

シェーンボード

グリーン購入法適合

硬質ウレタン系断熱材です。主に露出仕様に使用します。JIS A 9521（建築用断熱材）硬質ウレタンフォーム断熱材2種1·2号の透湿係数を除く規格に適合します。

規格

寸　法（mm）	605 × 910					
厚　さ（mm）	25	30	35	40	50	60※
梱包単位（枚）	20	15	15	10	10	8
圧縮強度	10 N／cm² 以上					

※受注生産（地域によっては寸法が605×830mmになる場合があります）

下地調整材

AQシーラー

既存下地がアスファルト防水層の場合に使用する水性のアスファルト系下地調整材です。2.0kg/㎡で塗布した場合、仮防水性があります。

規格　A材（17kg／缶入り）、B材（18kg×2袋）

マルエスシーラー

既存下地がアスファルト防水層の場合に使用する溶剤系のアスファルト系下地調整材です。

規格　20kg／缶入り

その他

クランプ

主に屋内防水立上り面のラス網押さえに使用します。一般的に200mm間隔の千鳥状に取り付けます。（別名： とんぼ）

※クランプは、日本アスファルト防水工業協同組合事務局扱いです。

規格　1000個入／箱

マジックパウダー

アスリードコートを使用する際、足元のベタツキを抑制するために使用することができます。
先端キャップを外して散布し、ウールローラー等で均します。（30g/m² 程度）

規格　800g／ポリ瓶

脱気用資材

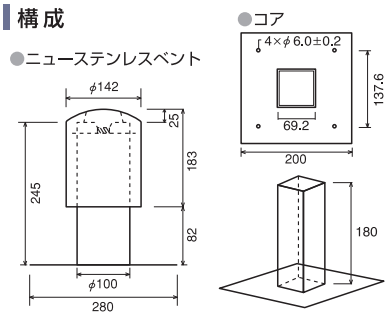
ニューステンレスベント

露出絶縁防水工法の平場より下地の湿気等を排出するステンレス製（SUS 304）脱気装置です。円筒部が大きいので施工性良好です。脱気能力に優れ、また耐久性・耐腐食性にも優れています。

●**コア**：露出断熱工法の場合は、ニューステンレスベントの下部に使用します。

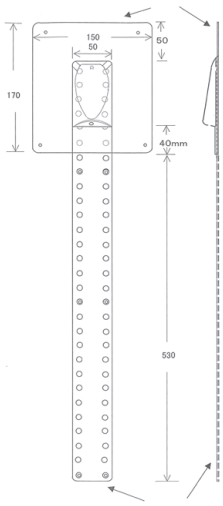
荷姿

構成



ニューパラベント

露出防水層の立上り部分に設置し、下地の湿気を排出する脱気システムで、本体部と通気導体部によって構成されています。屋根の形状によりますが、約10mに1ヶ所の割合で取付けます。



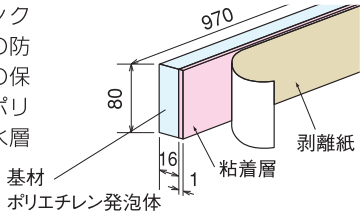
規格　5セット／箱入

1セット梱包内容

①ニューパラベント　1個
② ニューパラベントテープ
（本体用　幅50mm×長さ600mm）
（通気導体用　幅100mm×長さ700mm）
③ 固定ビス　10本／袋

パラクッション

防水層上に設けた保護コンクリートの動きによる入隅部の防水層の破断を防止するための保護材です。粘着層付の発泡ポリエチレンで、入り隅部の防水層に張りつけて使用します。

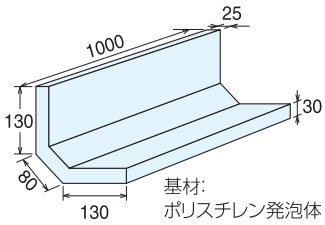


規格

長さ 970mm×高さ 80mm×厚さ 17mm　梱包：50本／箱入

パラキャント

パラクッションと同様に、入り隅部の防水層の破断を防止するための保護材ですが、主に断熱工法に使用します。
厚さ25mm、30mmの断熱材使用時に適用できます。

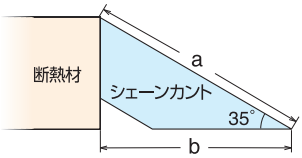


規格

長さ 1000mm　梱包：10本／袋入

シェーンカント

断熱露出工法のドレン部等に使用するキャント材です。



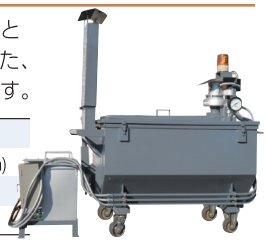
規格

断熱材対応厚さ	a	b	長さ	梱包
30mm	52mm	43mm	910mm	40本入
35mm	61mm	50mm		30本入
40mm	70mm	57mm		24本入
50mm	87mm	71mm		16本入
60mm	105mm	86mm		10本入

溶融釜

環境保全釜SP

アスファルト防水熱工法における“煙”と“臭い”を大幅に低減するために開発された、脱煙・脱臭装置付のアスファルト溶融釜です。



容　量	約170kg（120kgまで投入可能）
寸法（本体）	770W×1,490L×1430H※(mm)
質　量	約180kg（内釜重量40kg含む）
電　源	100V

※パトライト最頂部までの高さ（煙突部は取り外し可能　H: 1680mm）

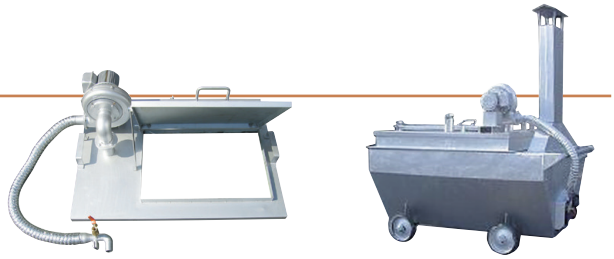
エコタンク

電熱式保温溶融釜で防水工事用アスファルトを溶融した状態で施工現場まで運ぶことが出来ます。

容　量	80L
寸法（本体）	1080W×1570L×1420H (mm)
質　量	約420kg
電　源	200V、81A

エコキーパーE

従来のアスファルト溶融釜に簡単に取り付ける事により、アスファルトの煙や臭いを吸引し、燃焼させます。



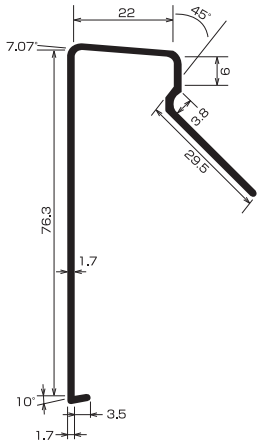
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

笠木類

フラット屋根笠木（MBシリーズ）

MB

MB-80 直線キャップ

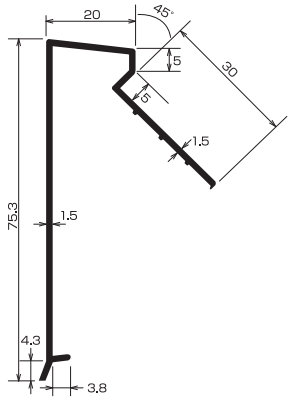


出隅・入隅あり（300×300）
エンドキャップあり

規格

76.3×22mm×2m　t=1.7mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック※
※受けはシルバーのみ

MB-80台座



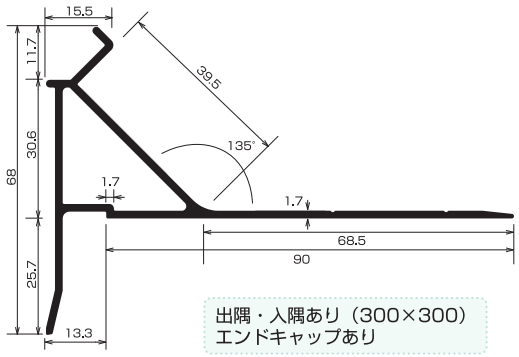
●ジョイントは台座と兼用です。

内側ジョイントあり（曲げ材）
出隅・入隅あり（300×300）

規格

75.3×20×100mm　t=1.5mm

MB-80 直線受け



出隅・入隅あり（300×300）
エンドキャップあり

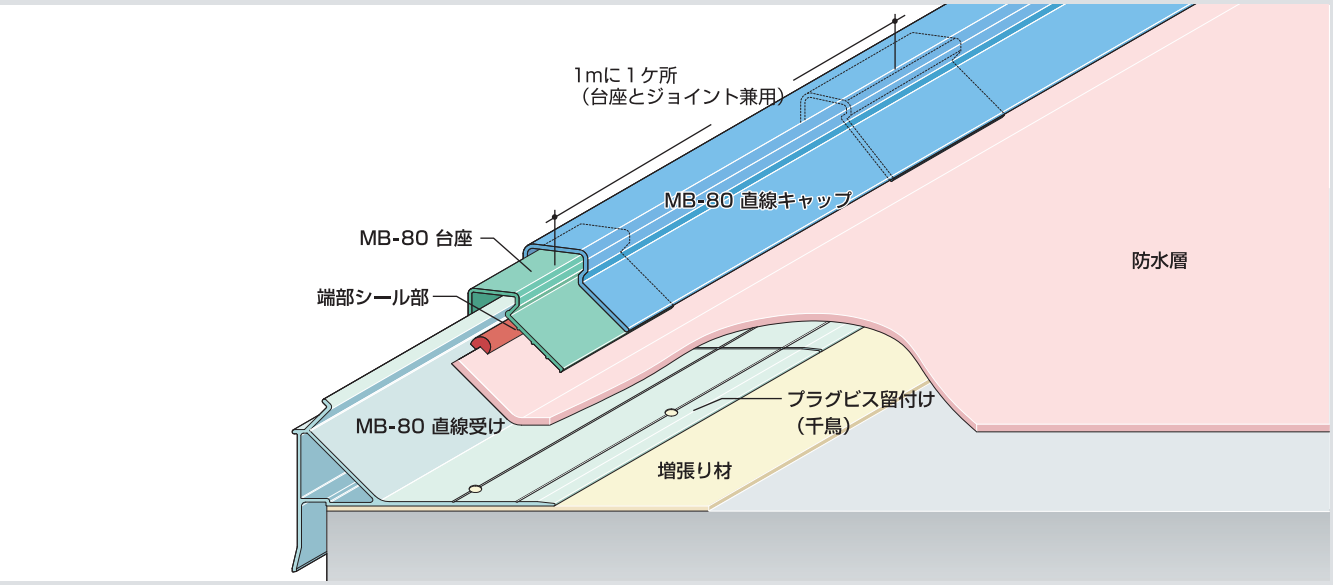
規格

68×103.3mm×2m　t=1.7mm

■ 直線セット
- ●受け（1本）
- ●キャップ（1本）
- ●台座（2ケ）

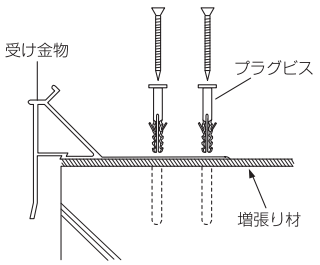
■ コーナーセット（出隅・入隅）
- ●受け（1本）
- ●キャップ（1本）
- ●台座（2ケ）
- ●コーナー用台座（2ケ）

※MB-80は直線セットと出隅・入隅セットを標準としております。

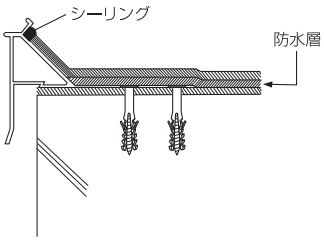


取付け例

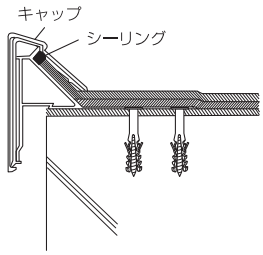
1 受け金物をプラグビスで固定する。（穴は千鳥にて空けてください。）



2 防水層は本体の立上り手前まで張り、仕上げ砂付ルーフィングは受け金物上部まで張り上げる。貼仕舞はシーリング材でシールする。



3 受けとキャップの接合部はアルミニウムの伸縮を考えて5mm程度あけてセットする。



※パラペット天端に勾配がある場合、施工上不具合が生じる可能性がありますので、施工前に、勾配をフラットに補修することをお勧め致します。

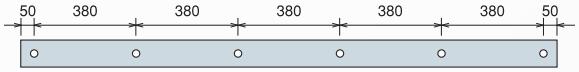
製品発注に関する注意事項

マルエスアルミ水切りの製品発注に関する注意事項

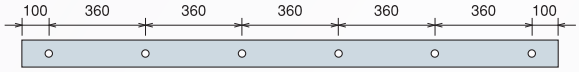
アルミ水切はMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は発注時に必ず「ビス穴有り」と明記し「穴数」「穴径」※「穴ピッチ」「端からの距離」をご指定ください。（下図参照）

■ 穴アケ参考ピッチ ※穴径はφ4.5・φ5・φ5.5・φ6・φ6.5の５種類から選択可能です。

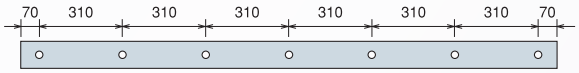
● 6穴@380mm（端から50mm）



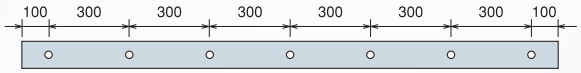
● 6穴@360mm（端から100mm）



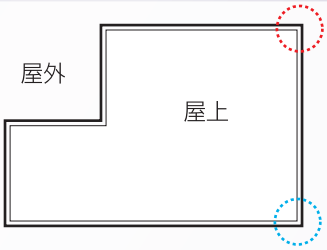
● 7穴@310mm（端から70mm）



● 7穴@300mm（端から100mm）



■ 役物回りについて



● 壁用水切の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが1か所」「入隅コーナーが5か所」となります。（屋上から屋外を見る方向）

● 天端・フラット笠木の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが5か所」「入隅コーナーが1か所」となります。（屋外から屋上を見る方向）

● 各種エンドキャップ

青○部は「エンドキャップ右」赤○部は「エンドキャップ左」となります。（屋上から屋外を見る方向）

水切金物

マルエスアルミ水切り

製品記号の見方

マルエス水切	形状－1	形状－2		縦寸法	横寸法	厚み	形状－3
M	L		－	30	10	A	
	F：フラット L：L型 K：壁用 T：天端用	N：返し無し I：イ型金物			L型のみに適用	A：1.2mm B：1.5mm C：1.8mm D：2.0mm 上記以外 BC：1.7mm	MT(天端)のみに適用 S：外(はね出し) U：内(巻き込み)

※アルミ水切はMT-61BS直線を除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は31頁「製品発注に関する注意事項」をご参照ください。

●MF（フラット）

MF-30D

規格
30mm×2m
t=2.0mm

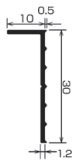
MF-34B

ジョイント板別途（型材）

規格
34×6.5mm×2m
t=1.5mm

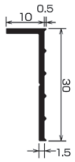
●ML（L型）

ML-3010A



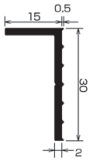
規格
30×10mm×2m
t=1.2mm

ML-3010B



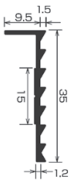
規格
30×10mm×2m
t=1.5mm

ML-3015D



規格
30×15mm×2m
t=2.0mm

ML-3511A

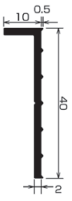


規格
35×11mm×2m
t=1.2mm

ML-4010A

規格
40×10mm×2m
t=1.2mm

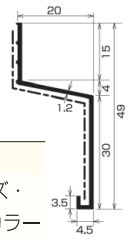
ML-4010D



規格
40×10mm×2m
t=2.0mm

●MK（壁用水切）

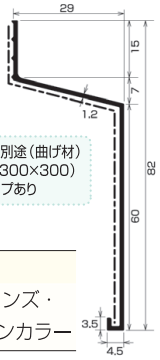
MKN-49A



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（200×200）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・
ブラック・ステンカラー

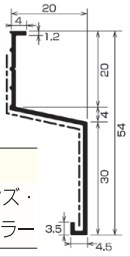
MKN-82A



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・
ブラック・ステンカラー

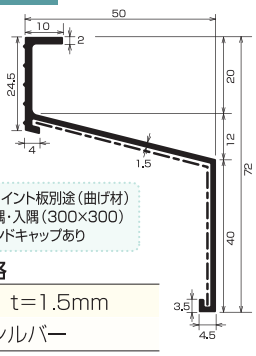
MK-54A



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（200×200）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・
ブラック・ステンカラー

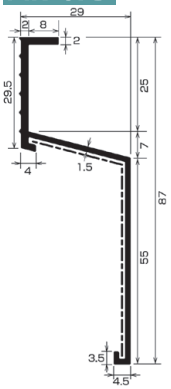
MK-72B



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.5mm
色　シルバー

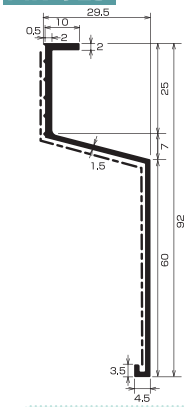
MK-87B



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.5mm
色　シルバー・
ブロンズ・
ステンカラー

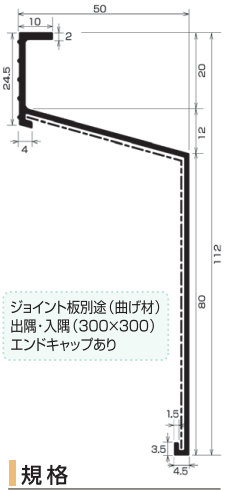
MK-92B



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.5mm
色 シルバー・ブロンズ・
ブラック・
ステンカラー

MK-112B

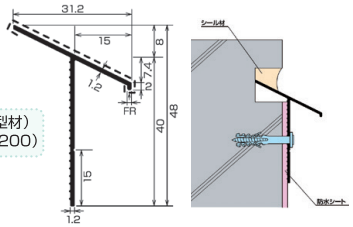


ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

規格
2m　t=1.5mm
色　シルバー

●MK（壁用特殊）

MKI-48A



ジョイント板別途（型材）
出隅・入隅（200×200）

規格
2m　色　シルバー

● 参考（プラグビス）

打ち込み式　セルボ

規格
SELBO: 5×36

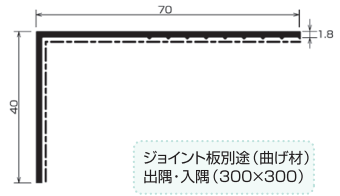
ねじ込み式　フィッシャープラグ

規格
SWL: 6×50　・　SWL: 6×60

マルエスアルミ水切金物の取付用アンカープラグビスには、セルボ(SELBO 5×36)・フィッシャープラグ(SWL 6×50、SWL 6×60)の皿ビス・ステンレス製の使用をお勧めします。

●MT（天端用）

MT-40C

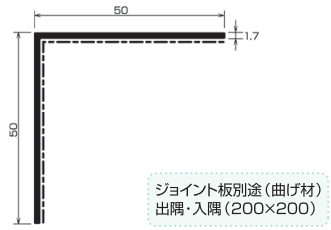


規格

40×70mm×2m　t=1.8mm

色　シルバー・ブラック

MT-50BC

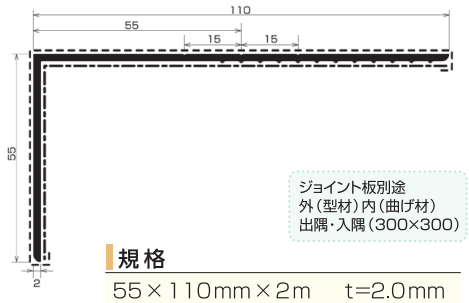


規格

50×50mm×2m　t=1.7mm

色　シルバー

MT-55D

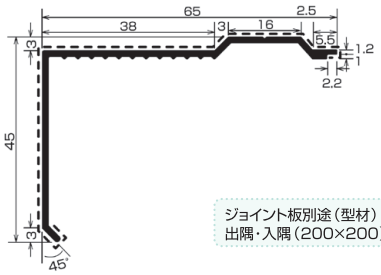


規格

55×110mm×2m　t=2.0mm

色　シルバー

MT-42BU

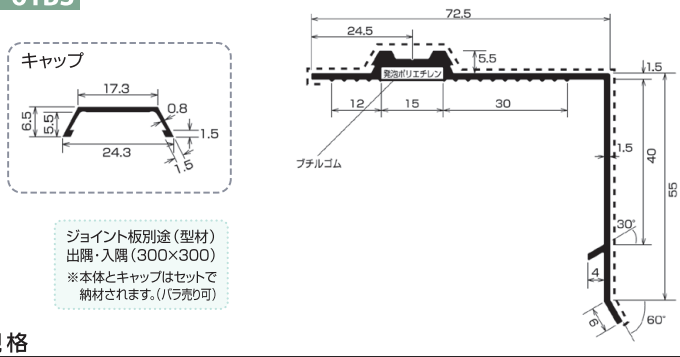


規格

42×65mm×2m　t=1.5mm

色　シルバー

MT-61BS

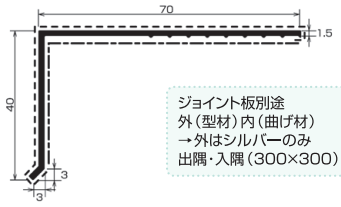


規格

61×72.5mm×2m　t=1.5mm

色　シルバー　直線はビス穴有品のみ（Φ6、8穴、50端）

MT-40BS

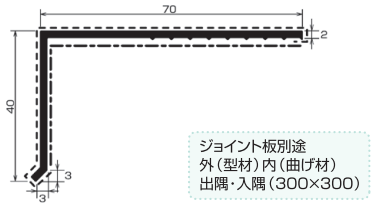


規格

40×70mm×2m　t=1.5mm

色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MT-40DS

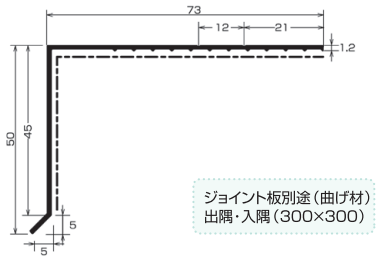


規格

40×70mm×2m　t=2.0mm

色　シルバー

MT-50AS

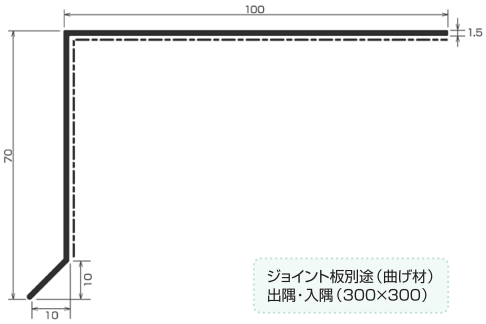


規格

50×73mm×2m　t=1.2mm

色　シルバー

MT-70BS



規格

70×100mm×2m　t=1.5mm

色　シルバー

MT-110D

規格

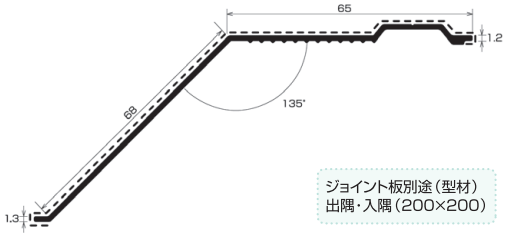
110×55mm×2m

t=2.0mm

色　シルバー

●MT（天端用特殊）

MT-50AB



規格

H 50　68×65mm×2m　t=1.3mm

色　シルバー・ブロンズ・ブラック

施工工具

アスゴムバケ100/200/300

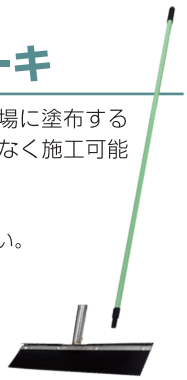
アスリードコートを立上りに塗布する際に使用するゴム刷毛です。

規格	幅 100、200、300mm 高さ150mm

アスゴムレーキ

アスリードコートを平場に塗布する際に、腰を屈めることなく施工可能なゴム刷毛です。

柄は付属していません。
市販の柄をご使用ください。



養生テープ張りの例

規格	幅 500mm

替えゴム1000A

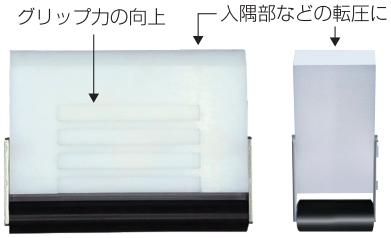
アスゴムバケ、アスゴムレーキ共通の先端替えゴムです。ハサミ等でカットしてご利用ください。

規格	1000mm 高さ75mm 厚さ5mm

※アスゴムバケ、アスゴムレーキは、ゴム取付け部のネジに養生テープ張り推奨(アスファルトの付着を防ぐため)

転圧ローラー/転圧ローラーミニ

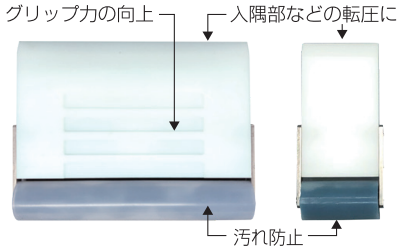
ルーフィングを転圧するローラーです。一般部には転圧ローラーを、細かい作業にはミニを使用します。



規格	幅 150mm／50mm（ミニ）

転圧ローラーSi/転圧ローラーミニSi

転圧ローラーのローラー部にシリコンゴムが被覆されているため、密着性が向上し、アスファルト等の付着も軽減します。



規格	幅 150mm／50mm（ミニ）

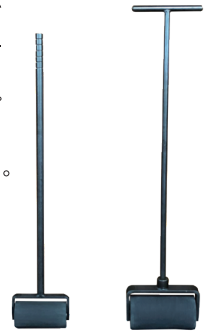
ソールカバー

作業靴に被せることにより、靴底にアスファルトが付着しにくくなります。アスリードコート上掛け上の歩行時に効果があります。

規格	Lサイズ (26～28cm) 2個／袋入

転圧ローラーロング5kg/20kg

粘着ルーフィング等を転圧するローラーです。
5kg(軽量)タイプと20kg（重量）タイプがあります。



5kgタイプ　20kgタイプ

規格	
5kg品	ローラー幅200mm×φ108 L=1100mm
20kg品	ローラー幅250mm×φ130 L=1200mm

ハンドローラーS/F

ルーフィング接合部や複雑箇所等を転圧する小型のローラーです。金属タイプ（S)とフッ素樹脂タイプ（F)があります。

ローラーS　ローラーF

規格	
S	ローラー幅 48mm×φ48 730g
F	ローラー幅 60mm×φ35 200g

プレッサーローラー

粘着ルーフィングを転圧するローラーです。大面積の施工に適しています。

規格
ローラー幅 300mm L=1070mm 3.6kg

マルエス剥離紙カッター

ルーフィングを傷付けずに、剥離紙や剥離フィルムのみを裁断できる特殊カッターです。

替刃：10枚入り（別売）

規格	L＝155mm

プレートステッチャー

網状ルーフィングを張り付ける際に入隅部の転圧に使用します。市販の柄に取付け可能です。

規格	幅 27.2mm L＝158mm

受注生産 オイルタンク

アスファルト溶融釜に使用する床置圧送式の燃料タンクです。蓋の開閉が可能なため、メンテナンスが容易に行えます。

規格
高さ 450mm 直径 370mm 容量 40L オイルホース 4m 電源 AC100V

※形状等が写真と異なる場合があります。

	製品名	規格	概要・用途
ルーフィング類	アスリードルーフ	1×16m、t＝1.7mm	高伸長・高強度改質アスファルトルーフィング（非露出）
	ピロウエルド E	1×16m、t＝1.5mm	部分粘着層付改質アスファルトルーフィング（非露出）
	ピロウエルド EW	1×16m、t＝1.5mm	部分粘着層付改質アスファルトルーフィング（非露出）（受注生産）
	シェーンサンド 30F	1×8m、t＝3.0mm	改質アスファルトルーフィング（露出）
	アスファインルーフA	1×10m、t＝2.5mm	改質アスファルトルーフィング（露出）
	カスタムM	1×16m、t＝1.0mm	粘着層付防湿用ルーフィング
	SPルーフM	1×16m	防湿用ルーフィング
防水工事用アスファルト塗膜防水材	アスリードコート	10kg／フィルム梱包	高伸長・高強度改質アスファルト塗膜防水材
プライマー類	プライマー AQ	16kg／缶入	水性系アスファルトプライマー
	アスファルトプライマー	15kg／缶入	溶剤系アスファルトプライマー
	速乾プライマー	15kg／缶入	溶剤系速乾型ゴムアスファルトプライマー
下地調整材	AQシーラー	53kg（A材17kg、B材18kg×2袋）	水性ゴムアスファルト系下地処理材
	マルエスシーラー	20kg/缶	アスファルト系下地処理（活性）材
補助材	ニチロンメッシュ	1×33m	合成繊維網状ルーフィング
	パラテープ	10cm×33m	合成繊維網状ルーフィング裁断品
	PTクロス	1×200m	絶縁用シート（フラットヤーンクロス）
接着剤・シール材	USボンド A	10・20kg／缶入、330mLカートリッジ24本／箱	断熱材用接着剤
	マルチシール	330mLカートリッジ24本／箱	高耐候性変性シリコーン系シール材
	カスタムコーチング S	11・22kg／缶入、330mLカートリッジ24本／箱	ゴムアスファルト系シール材
防水層保護仕上材	PFシステム	『PFシステム』カタログ参照	乾式浮床仕上材
	カナート	『カナート』カタログ参照	屋上緑化工法
	アースキーパー G	298×298mm、t＝27mm	保水パネル（セメント成型板）
	ピロブロック	450×450mm、t＝25mm	乾式仕上材
	トップタイト	500×1000mm、t＝6mm	アスファルト成形板
仕上塗料	プレノカラー遮熱	16.3kg／缶入	水性カラー遮熱塗料
	サーモロックカラーMB	16.3kg／缶入	水性カラー暗色系遮熱塗料（受注生産）
	FPクール	18kg／缶入	水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料（受注生産）
	ハイクール	16kg／缶入	水性カラー高耐候性遮熱塗料
	ロッコート	20kg／缶入	水性カラー飛び火抑制塗料（受注生産）
断熱材	BKボード E	910×910mm	押出成形ポリスチレンフォーム
	シェーンボード	605×910mm	硬質ウレタンフォーム
脱気用資材	ニューステンレスベント	p.29参照	ステンレス製脱気筒
	ニューパラベント	p.29参照	立上り用脱気システム
水切金物類	マルエスアルミ水切	p.32-33参照	アルミ製水切金物
緩衝材	パラクッション	p.29参照	入隅部防水層保護材
	パラキャント	p.29参照	入隅部防水層保護材
	シェーンカント	p.29参照	断熱材端末部面取り材
施工具・施工補助	環境保全釜 SP	p.29参照	防水工事用アスファルト溶解釜
	エコタンク	p.29参照	保温運搬型アスファルト溶解釜
	エコキーパー E	p.29参照	アスファルト溶解釜用フタ（集煙装置付）
	その他工具類	p.34参照	
その他	クランプ	1000個入／箱	ラス網固定用（別名：とんぼ）
	マジックパウダー	800g／ポリ瓶入	アスファルトのベタつき抑制用粉体

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

飛び火認定取得済みの仕様の概要

一般仕様には該当しない様々な下地構造・断熱材の厚さに関しては、建築基準法に定められた飛び火試験を実施し、飛び火認定を取得しております。ご採用に際し、下表をご参考に認定書全文をご請求いただき、認定構造通りの施工を頂きますようお願いいたします。

飛び火試験に合格し、国土交通省の個別認定を取得

	仕様記号	認定番号	仕上材※1	断熱材厚み	下 地※2	備　考
アスリード工法	SALI-2、3 SALM-2、3	DR-2084(4)	FPクール 0.8kg/m²	300mm以下	コンクリート	断熱材用接着剤: 防水工事用アスファルト (1.5kg/m²以下) 又はUSボンドA(1.5kg/m²以下) 防 湿 層 : カスタムM又はSPルーフM (熱アス張り)(SALM-2、3のみ)
	SALEI-2 SALEM-2	DR-2146(2)	FPクール 1.2kg/m²	300mm以下	コンクリート	断熱材用接着剤: 防水工事用アスファルト(1.5kg/m²以下) 又はUSボンドA(1.5kg/m²以下) 防 湿 層 : カスタムM又はSPルーフM(熱アス張り)(SALEM-2のみ)

勾配は、全て0～30°での飛び火認定となります。

※1 仕上材をロッコートにする場合は、飛び火認定の適用外となります。

※2 コンクリートは、RC／SRC／PC／ALC の事を示します。
下地の厚み コンクリート RC／SRC／PC t=50mm 以上 コンクリート ALC t =75mm 以上
その他詳細については該当する認定書をご確認ください。
陸屋根で木質系･セメント系ボード下地をご検討の場合は、弊社営業担当者までご相談ください。

日本建築センターの建設技術審査証明事業により、下記の事項が証明されています。

● 在来工法によるアスファルト防水と同等の防水性能を有しています。

種　別	公共建築工事標準仕様	仕様記号
屋根保護防水	A-1, A-2, A-3, B-1, B-2	FAL-1
屋根保護断熱防水	AI-1, AI-2, AI-3, BI-1, BI-2	FALI-1
屋根露出防水	C-1, C-2, C-3, C-4,	SALR-3
	D-1, D-2	SAL-2, SAL-3
屋根露出断熱防水	DI-1, DI-2	SALI-2, SALI-3
		SALM-2, SALM-3
屋内防水	E-1, E-2	RAL-100

※B-1･2、BI-1･2、D-1･2は"砂付あなあきルーフィングを用いる場合"に適用

BCJ－審査証明－309

建設技術審査証明書（建築技術）

技術名称：環境配慮型改質アスファルト複合防水工法「アスリード工法」

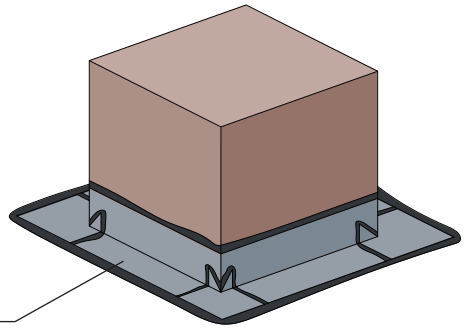
日本建築センター

● 作業工程数が少ないため、作業負荷が軽減されます。
● アスファルトの使用量を削減し、周辺環境に対する影響が軽減されます。
● 張り付けに加熱型改質アスファルト塗膜防水材を使用しているため防水層端末の押え金物が必要ありません。

出入隅部・ドレン部 等の施工方法

出入隅増張り

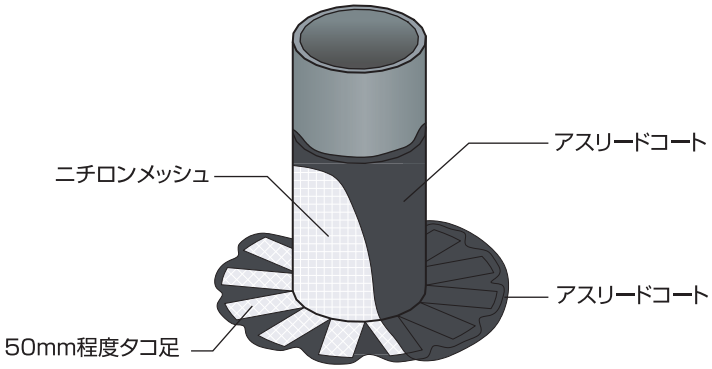
SAL-CVM及びFAL-CVM、RAL-100VMなどニチロンメッシュを用いた塗膜仕上げとした場合、幅300mmにカットしたアスリードルーフを入隅部にアスリードコートで均等に張り付ける。



配管回り増張り

断熱材張付け後、配管回りは最下層にニチロンメッシュを増張りする。ニチロンメッシュは、配管の所定の高さより20mm程度下げて張り付け、平場に50mm程度短冊状にカットし這わせる。アスリードコートを下塗りした後、ニチロンメッシュを張付け、さらにメッシュの目が無くなるように十分アスリードコートを上塗りする。ニチロンメッシュの重ね幅は30mm程度とする。

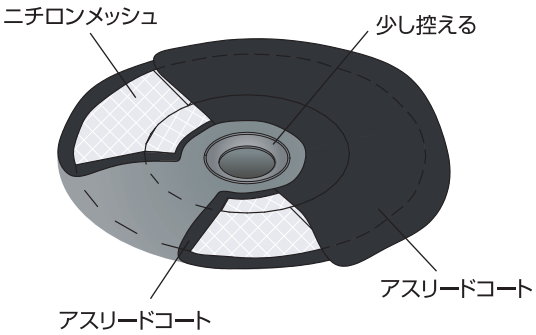
※ニチロンメッシュに替えてアスリードルーフも可。



ドレン回り増張り

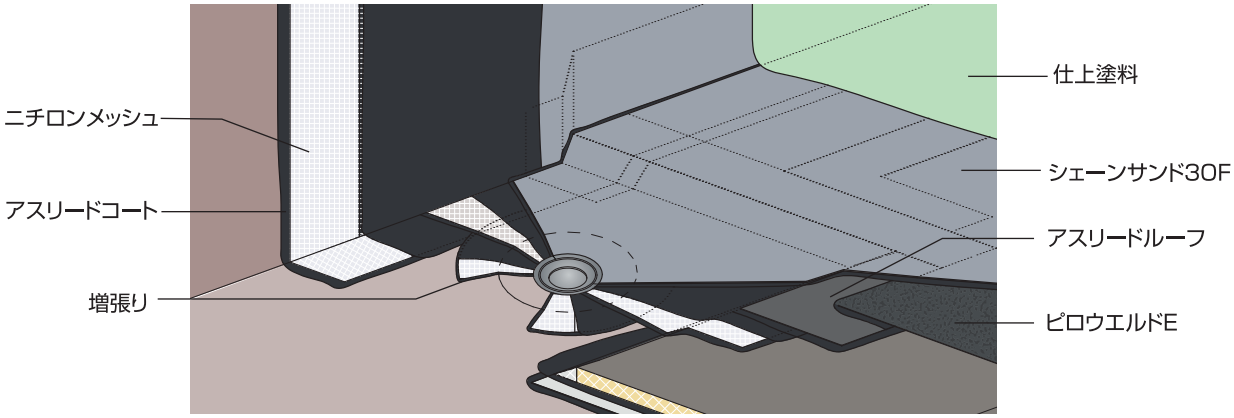
ドレンのつば及びつばから100mm以上アスリードコートで下塗りした後、幅200mm程度のニチロンメッシュを張付け、さらに上からアスリードコートを増塗りする。ニチロンメッシュの重ね幅は30mm程度とする。

※ニチロンメッシュに替えてアスリードルーフも可。



ドレン回りの施工例

- ドレン及びドレンのつばの先端から断熱材上150mm程度までは、アスリードコートを下塗りした後、ニチロンメッシュを張付け、さらにアスリードコートを上塗りする。ニチロンメッシュの重ね幅は100mm程度とする。
- 立上りの際から300～500mm程度は、アスリードルーフをアスリードコートを用いて張り付け、刷毛等でよくなじませる。
- ピロウエルドEは、アスリードルーフに100mm以上アスリードコートを用いて張り重ねる。
- シェーンサンド30Fをドレンの際まで張り付け、端部はアスリードコートを塗り付ける。



屋上・ルーフバルコニー・ベランダ等をご利用される方へ

防水層が長期間にわたって安定した防水性能（機能）や美しい外観を保つために、日頃から下記の点にご注意いただき、定期的な自主点検とメンテナンスを実施されることをお奨めします。

使用上の注意

1.露出防水の場合　ー防水層上の注意点ー

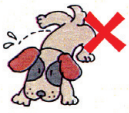
原則として維持・管理・点検以外の歩行及び使用はしないでください。

- 歩行する際にハイヒール、スパイク等底の尖った履物は防水層を傷つけるため使用しないでください。

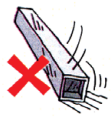
- タバコの火の投げ捨てや火気の使用は、防水層の機能を損なうため、行わないでください。

- 雨や雪などで濡れていたり、落葉・苔・砂埃等が堆積していると滑りやすくなりますので、歩行の際には注意してください。

- 溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないでください。



- ペットの飼育は、爪や歯で防水層を傷つけたり、排泄物により防水層が劣化する恐れがあります。



- 防水層を傷つけたり、物を落としたり、物を引きずったりすることは避けてください。

- 屋上設備類の定期清掃時に中性洗剤以外を使用する場合は、こぼさないように注意してください。また、清掃後は必ず周囲の防水層を水洗いしてください。

- 重量物や振動物は載せないでください。やむを得ず載せる場合には、ゴムマット等を敷き、防水層を保護してください。

- 雪下ろしには、金属製のスコップ等の防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。

- ゴムホースやビニールサンダルを長期にわたり置いておくと、接触している部分が変色することがあります。

- 直接客土して草木の植栽は行わないでください。ご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

2.保護防水の場合

- 保護層上に溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないよう注意してください。

- 屋上設備類の定期清掃時に、中性洗剤以外を使用する場合にはこぼさないでください。保護層の目地部等より浸透して、防水層に不具合を生じる恐れがあります。

- 火気の使用や直接客土しての草木の植栽は行わないでください。植栽をご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

- 後から設備基礎等の施設を設置する場合には、設置方法によっては保護層を貫通して防水層を損傷する恐れがありますので、保護層の構造・厚み・積載荷重を考慮して設置してください。

- 目地部やドレン部に植物の繁茂が認められた場合には、防水層を貫通・損傷の恐れがありますので、むやみに引き抜いたりせず専門工事店にご相談ください。

自主点検時の注意

- 天候が降雨・強風の場合は、滑落等の危険がありますので、行わないでください。
- 原則として二人以上で行い、一人では行わないでください。
- 階段や梯子の昇降には十分注意してください。
- 後ろ向きの移動は危険ですので、絶対行わないでください。
- 屋上設備類には、むやみに触れないでください。
- 降雨後に点検する場合は、床が滑りやすくなっていますので、十分注意してください。
- 危険と思われる場所（怖いと思う場所）には、無理に近づかず業者に依頼してください。

メンテナンスのお願い及び注意

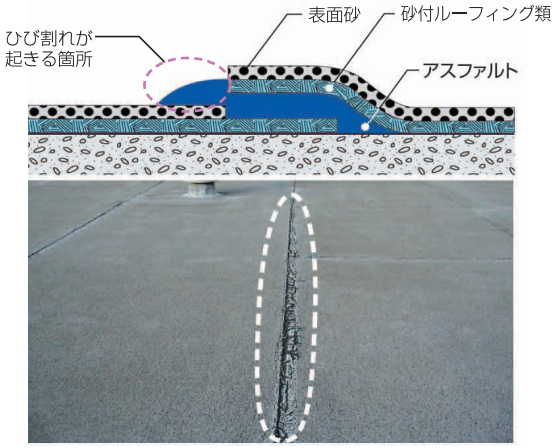
1.露出防水の場合（砂付ルーフィング仕上げ）

■お願い

- **防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に１回以上）をしてください。**
- **防水層端末押え金物回りの点検（1年に１回以上）をしてください。**
  水切金物、笠木の設置状況及び端末処理シール材の劣化状況を確認してください。
  異常がみられる場合は、施工業者にご相談ください。
- **定期的（3～6ケ月程度）に清掃を行ってください。**
  飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。
- **定期的（3～6ケ月程度）に次のように表面状態の点検を行ってください。**
  保護塗料が薄くなっている、剥離を起こしている、ひび割れがある等の異常や植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  特に植物の繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

■ひび割れについて

※ひび割れは、下図に示す通り、防水層に影響を与えるものではなく、防水上問題ありません。



■注意

露出防水層には下記のような現象が見られる場合がありますが、防水性能には支障ありません。

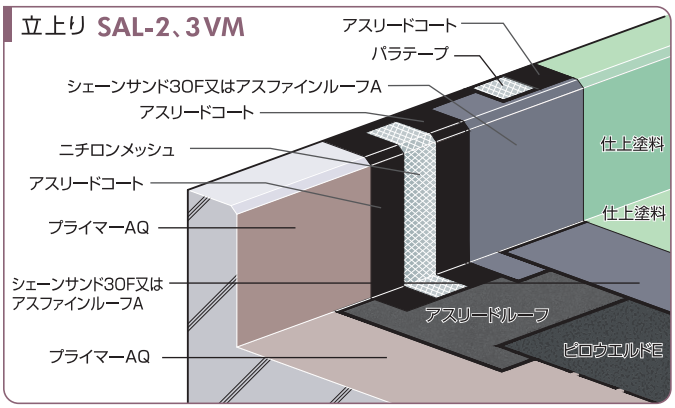
- 施工時にルーフィングのジョイント部分よりはみ出したアスファルトに生じるひび割れ。
- 雨水が滞留し易い箇所に花粉、泥、塵埃（黄砂を含む）等が堆積し、乾燥・湿潤を繰り返す事により発生する表層のひび割れ、捲れ、剥離。
- 表層砂粒への錆の付着及び砂粒に含まれる鉄分による錆の発生。
- ルーフィングに付着している余剰砂の脱落。
- 表層砂粒間に入り込んだ水分（湿気）による表面の膨れ及び下地に含まれる水分による軽度な防水層の膨れ。
- 仕上（保護）塗料の自然な変色・退色・減耗・ひび割れ。

2.保護防水の場合

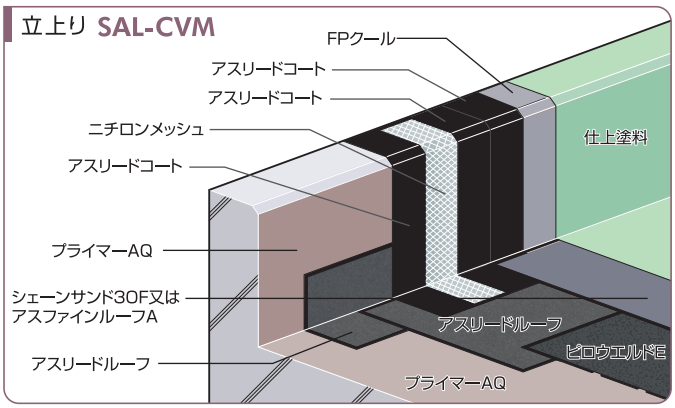
- **保護層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に１回以上）をしてください。**
- **植物の生育発生状況の点検・ドレン清掃（3～6ケ月程度）をしてください。**
  伸縮目地部、ドレン回りに砂埃等が堆積していると植物の生育しやすい環境になります。飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

防水層の補修、仕上塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社又は専門工事店に依頼してください。（有償）

●SAL-2、3仕様

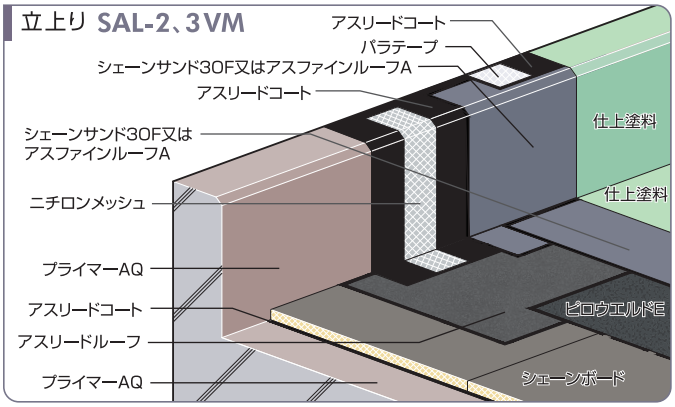


※立上りSAL-2、3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

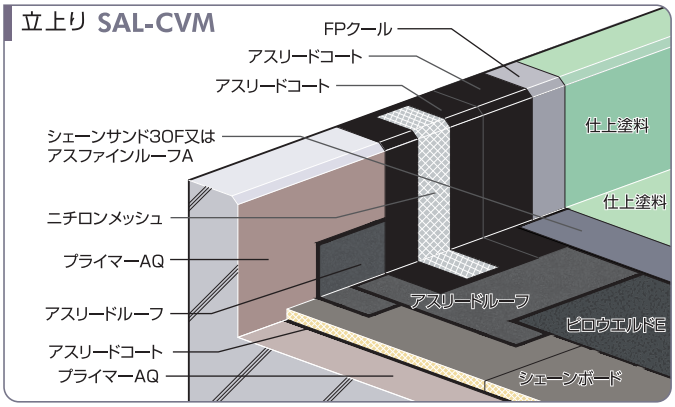


※立上りSAL-CVのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●SALI-2、3仕様

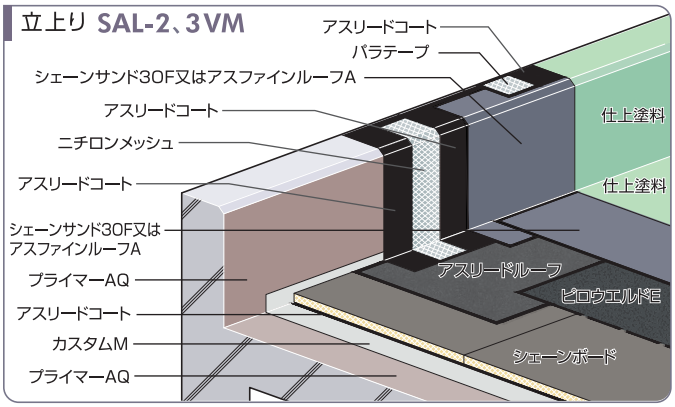


※立上りSAL-2、3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

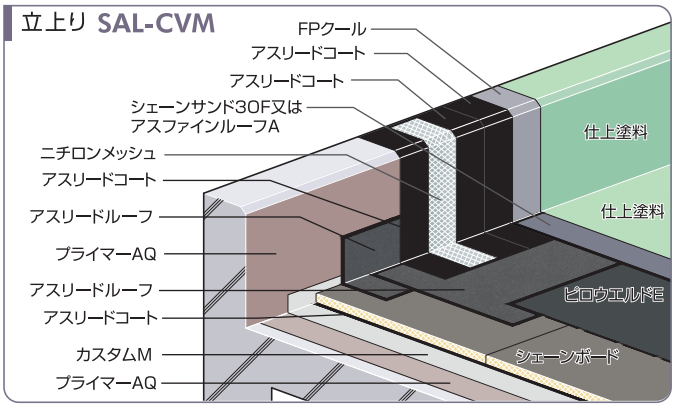


※立上りSAL-CVのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●SALM-2、3仕様

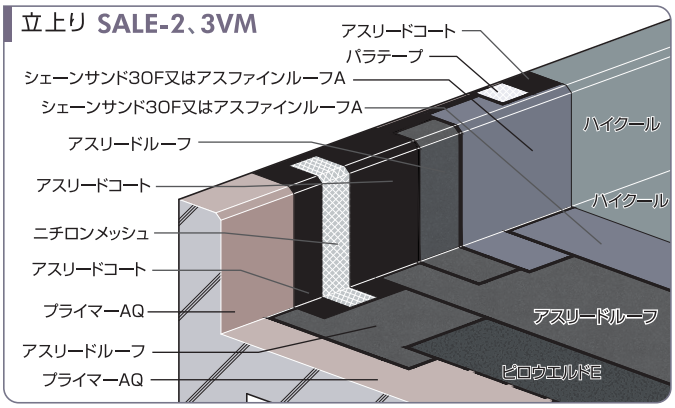


※立上りSAL-2、3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更



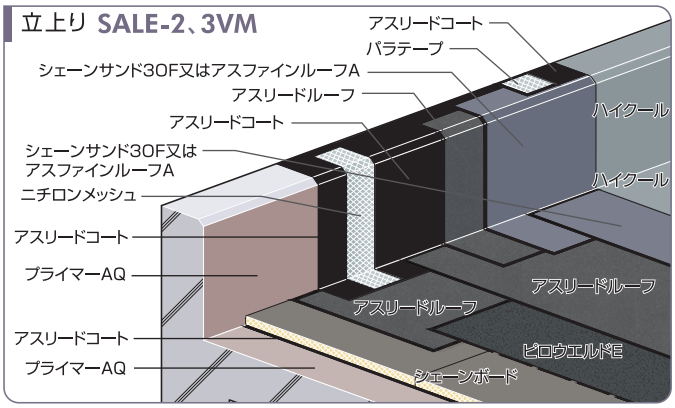
※立上りSAL-CVのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●SALE-2、3仕様



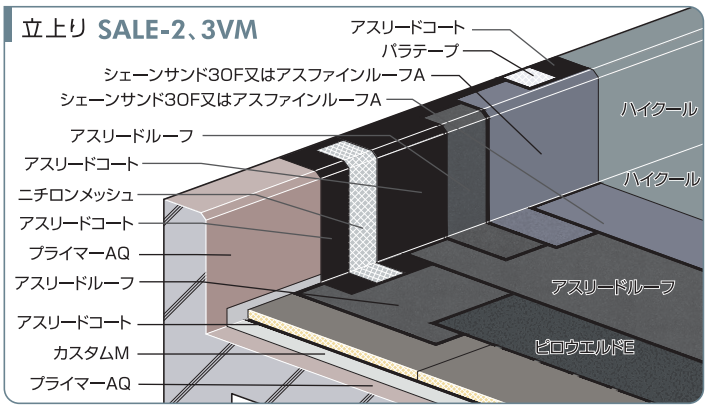
※立上りSALE-2、3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●SALEI-2、3仕様



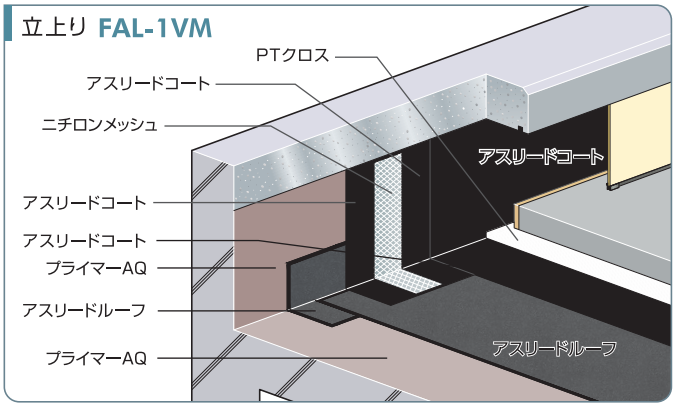
※立上りSALE-2、3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●SALEM-2、3仕様

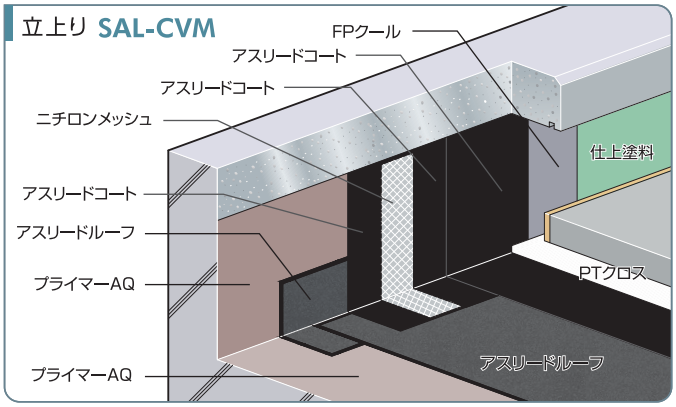


※立上りSALE-2、3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FAL-1仕様

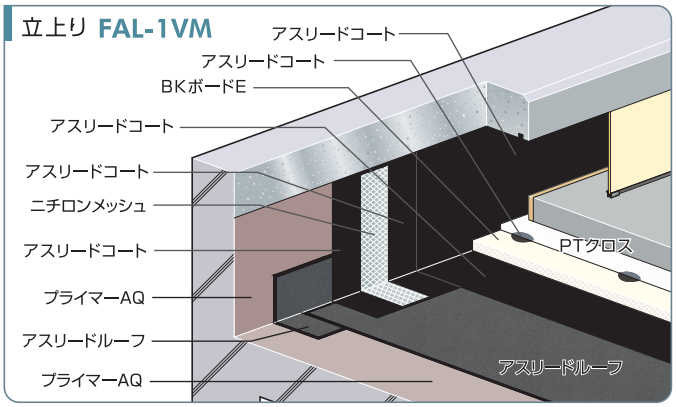


※立上りFAL-1Vのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

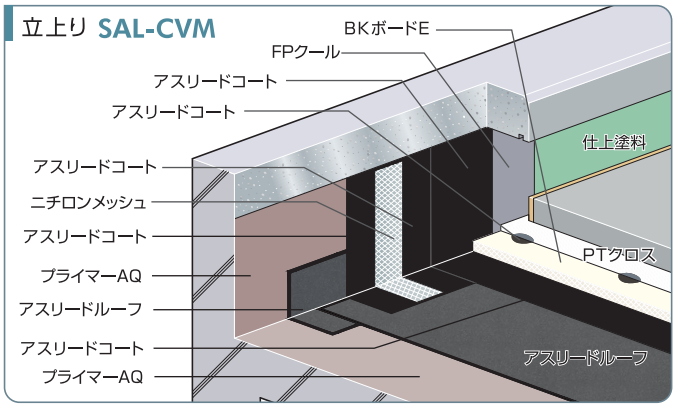


※立上りSAL-CVのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FALI-1仕様

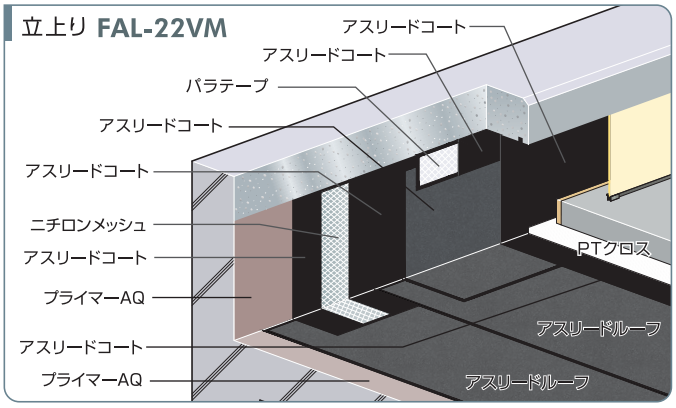


※立上りFAL-1Vのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更



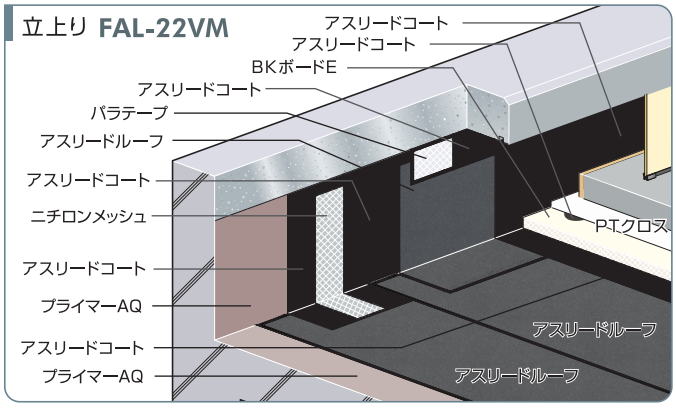
※立上りSAL-CVのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FALM-22仕様



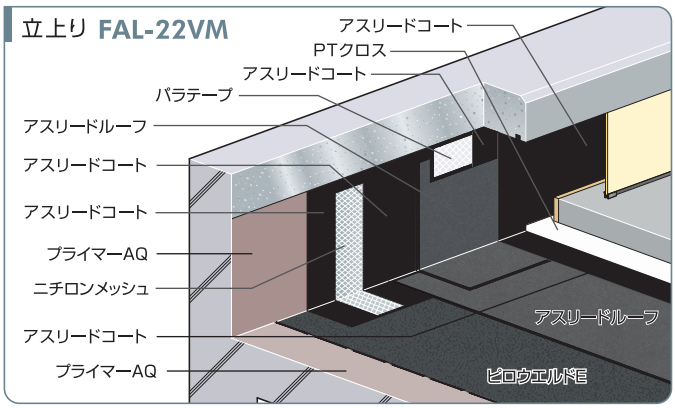
※立上りFAL-22Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FALMI-22仕様



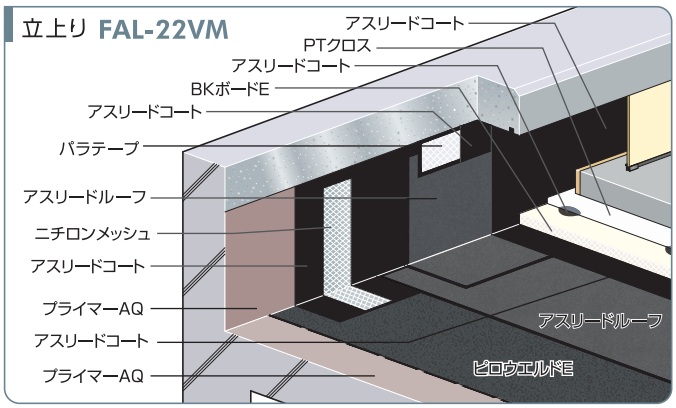
※立上りFAL-22Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FALP-22仕様



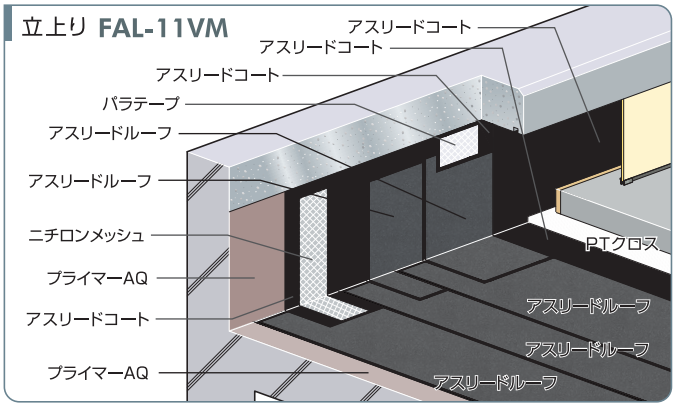
※立上りFAL-22Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FALPI-22仕様



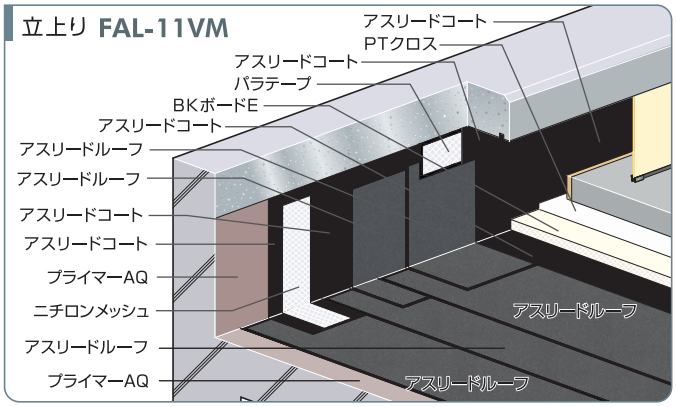
※立上りFAL-22Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FAL-11仕様



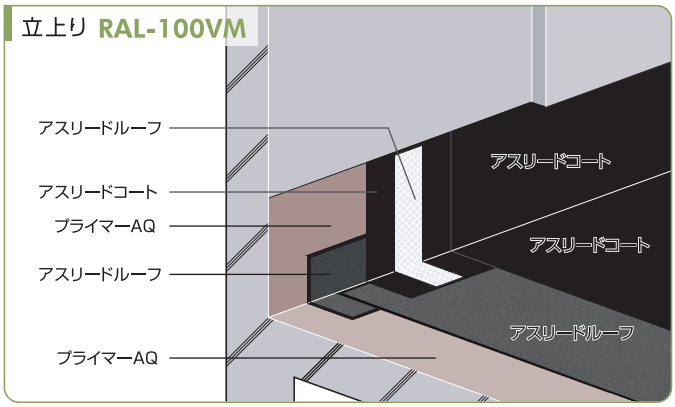
※立上りFAL-11Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●FALI-11仕様



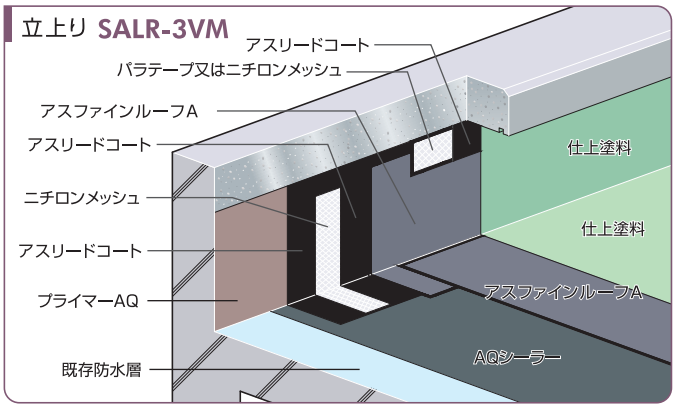
※立上りFAL-11Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●RAL-100仕様

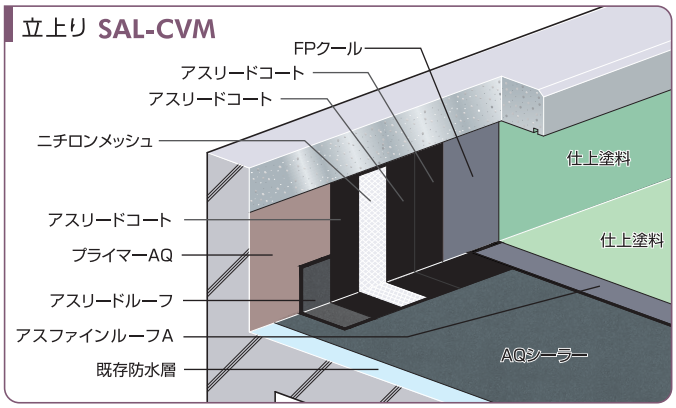


※立上りRAL-100Vのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●SALR-3仕様

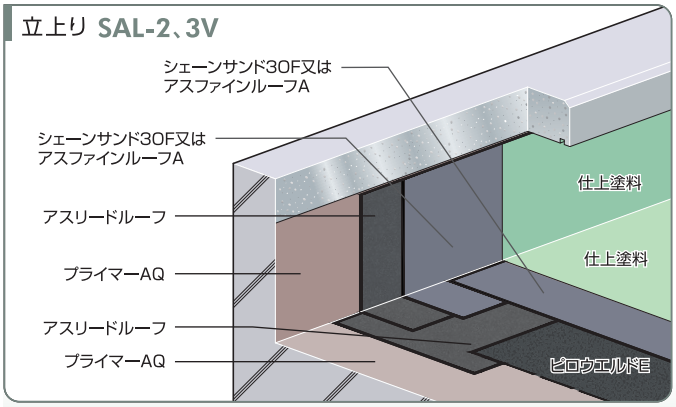


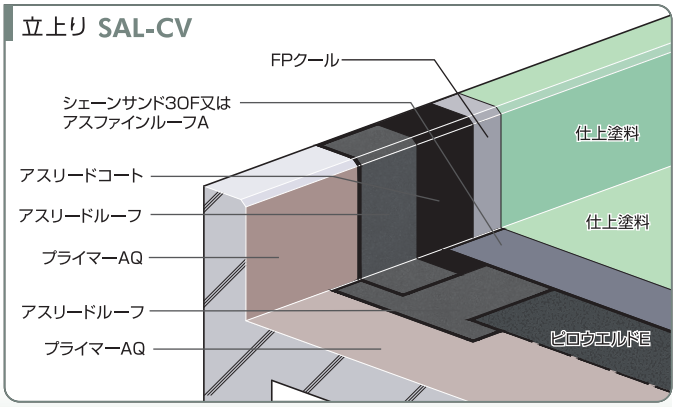
※立上りSALR-3Vの1層目アスリードルーフをニチロンメッシュに変更



※立上りSAL-CVのアスリードルーフをニチロンメッシュに変更

●端末部メッシュ締めの省略※





※全仕様の立上りにおいて次の条件のどちらかを満たしている場合、防水端末部のメッシュ締めを省略できます。

- ●立上り施工時、下地面にハケで下塗りを行う
- ●巻き上げ張りを行う

日本アスファルト防水工業協同組合

本　　部 ■120-0025/東京都足立区千住東2-23-4（日新工業（株）内）── TEL.03(6806)2666（代表） FAX.03(6806)2667
関 東 支 部 ■120-0025/東京都足立区千住東2-23-4（日新工業（株）内）── TEL.03(6806)2666（代表） FAX.03(6806)2667
中 部 支 部 ■461-0004/名古屋市東区葵3-23-10（ファーストビルK6F）── TEL.052(933)4761（代表） FAX.052(933)4766
関 西 支 部 ■541-0058/大阪市中央区南久宝寺町1-7-5（ロイヤルクイーンビル2F）── TEL.06(6263)7711（代表） FAX.06(6263)7715
九 州 支 部 ■812-0018/福岡市博多区住吉4-3-2（博多エイトビル3F）── TEL.092(451)1095（代表） FAX.092(451)1097
北海道支部 ■064-0809 札幌市中央区南九条西3-2-12（札幌KSビル3F）── TEL.011(215)1034（代表） FAX.011(215)1035

● 当カタログのデーターは全て性能値であり保証値ではありません。
● カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
● 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
● 製品の保管及び取扱いについては、SDSをご参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト　https://www.nisshinkogyo.co.jp/

総合防水材料メーカー
日新工業株式会社

0120-86-2424

■本社／営業統括部　〒120-0025 東京都足立区千住東2－23－4……TEL.(03)3882-2571
■関　　東 TEL.(03)3882-2641　■九　　州 TEL.(092)451-1095　■広　　島 TEL.(082)541-5033
■大　　阪 TEL.(06)6263-7711　■札　　幌 TEL.(011)215-1034　■工　　場 埼 玉・山 形
■名 古 屋 TEL.(052)933-4761　■仙　　台 TEL.(022)393-7209

Nov.2025-2000 Vol.1-3 TP